

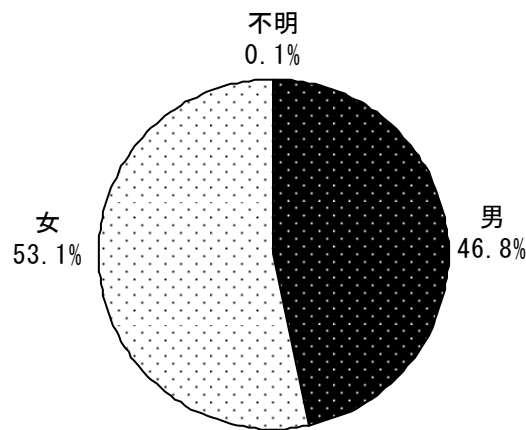
II. 調査結果

1. 回答者の基本属性

(1) 性別構成

回答者の性別の比率は男性が約 47%、女性が約 53%であった。鹿児島市の男女性比は平成 18 年 9 月の住民基本台帳では 47 : 53 であるため同割合である。

図表 1-1 性別構成

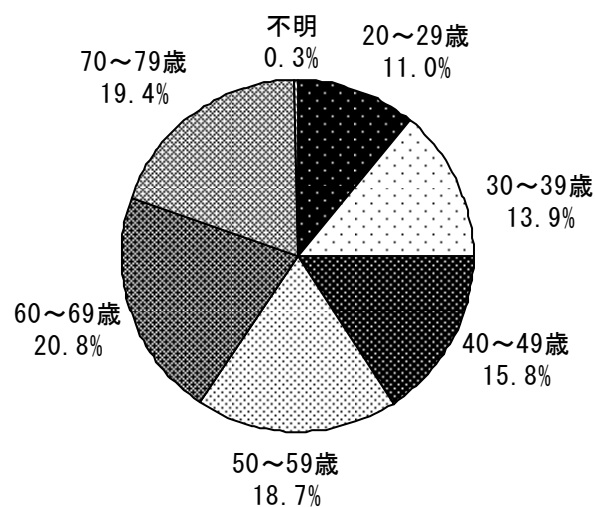


N=1,503

(2) 年齢別構成

回答者の割合は 50~79 歳が 58.9%であった。本市において 20~79 歳のうちの 50~79 歳の割合は、平成 18 年 9 月の住民基本台帳では 47.2%であるため高齢者層の割合が高い。

図表 1-2 年齢別構成

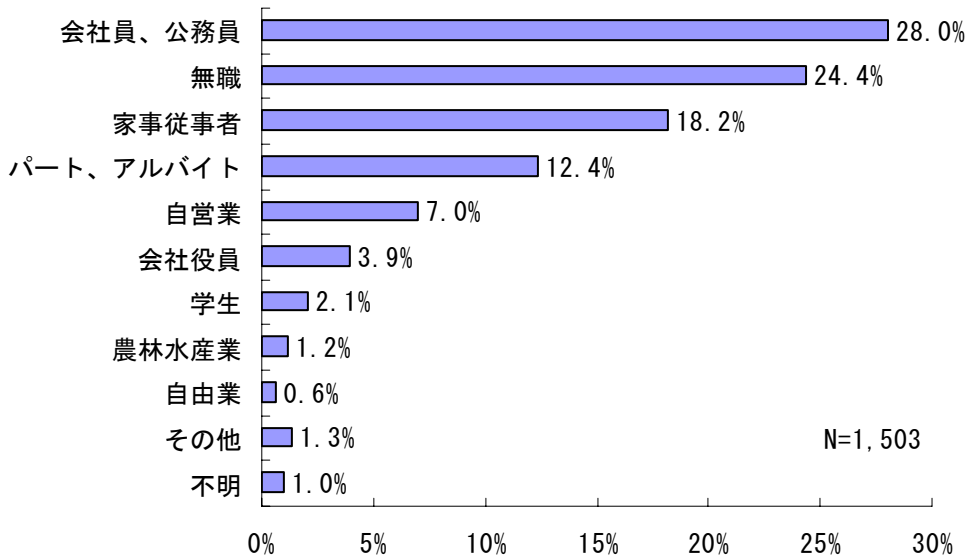


N=1,503

(3) 職業別構成

「会社員、公務員」の割合が28.0%と最も多く、次いで「無職」が24.4%、「家事従事者」が18.2%であった。「会社員、公務員」、「無職」、「家事従事者」の合計で全体の約7割を占めている。

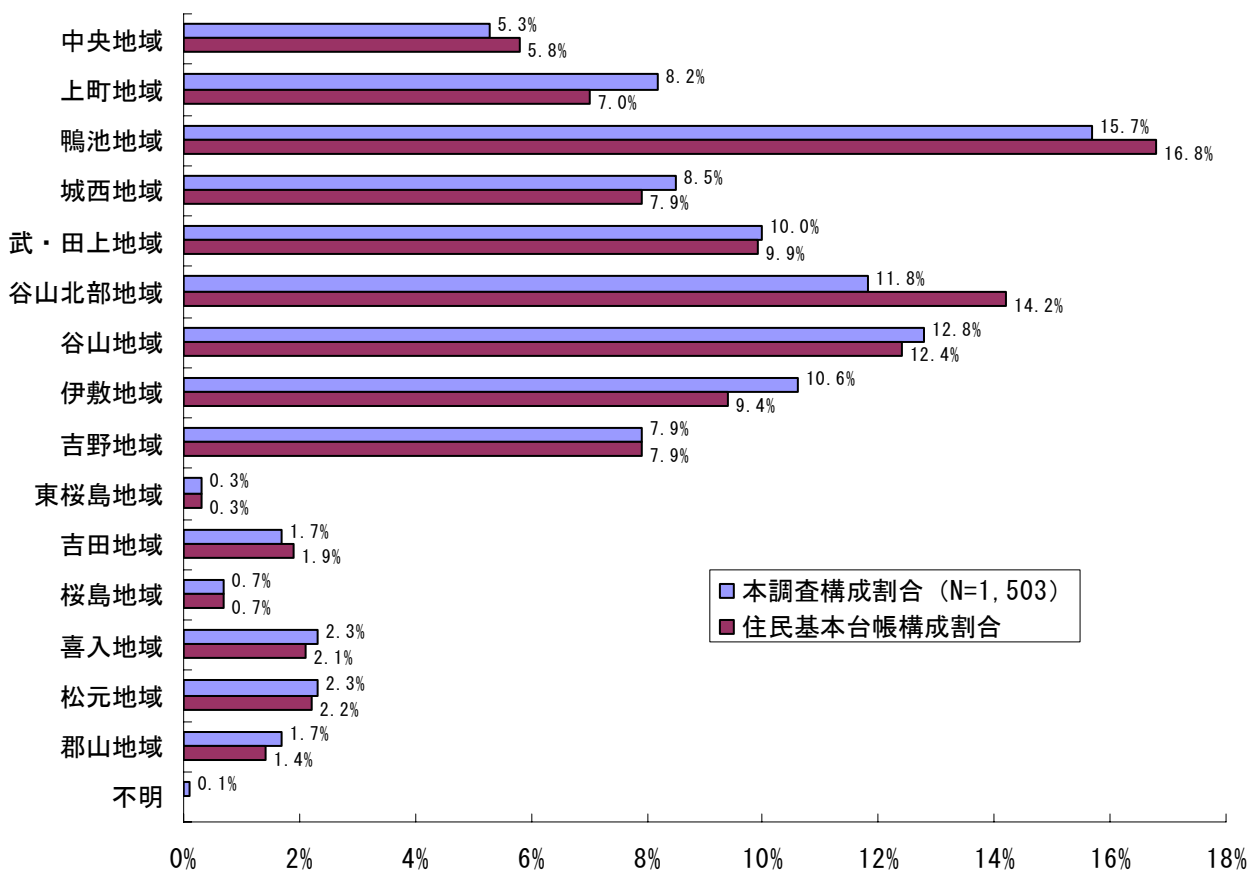
図表 1-3 職業別構成



(4) 地域別構成

平成18年9月の住民基本台帳の地区別構成と比較すると同程度の構成割合である。

図表 1-4 地域別構成（本調査と住民基本台帳との比較）



2. 家庭での情報通信機器の保有状況及びインターネットの利用状況

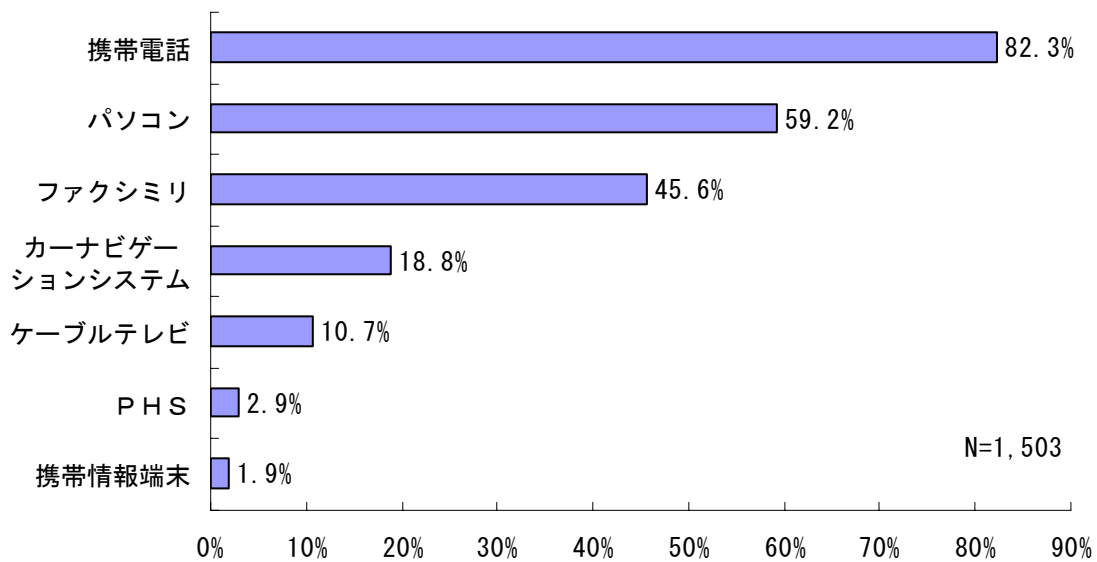
(1) 情報通信機器の保有率

問1. あなたのご家庭では、次の情報通信機器を保有していますか。(ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。) <複数回答>

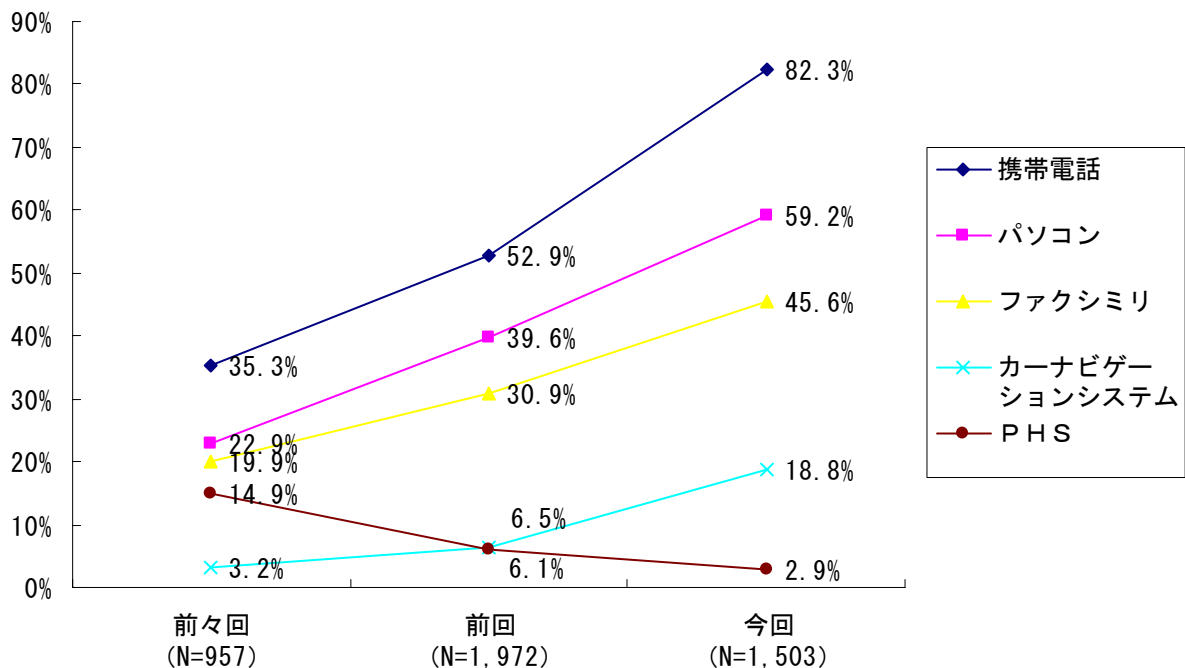
家庭における情報通信機器の保有率は、「携帯電話」が82.3%、次いで「パソコン」が59.2%、「ファクシミリ」が45.6%であった。「カーナビゲーションシステム」、「ケーブルテレビ」、「PHS」、「携帯情報端末」の家庭における保有率はいずれも2割を下回っている(図表2-1参照)。

保有率の推移をみると、「PHS」以外の情報通信機器は保有率が増加している。前回調査から最も保有率が増加したのは「携帯電話」で29.4ポイントの増加となっている。次いで「パソコン」が19.6ポイント、「ファクシミリ」が14.7ポイント、「カーナビゲーションシステム」が12.3%の増加となっている。なお、「ケーブルテレビ」、「携帯情報端末」は今回初調査である(図表2-2参照)。

図表 2-1 情報通信機器の保有率



図表 2-2 情報通信機器の保有率の推移



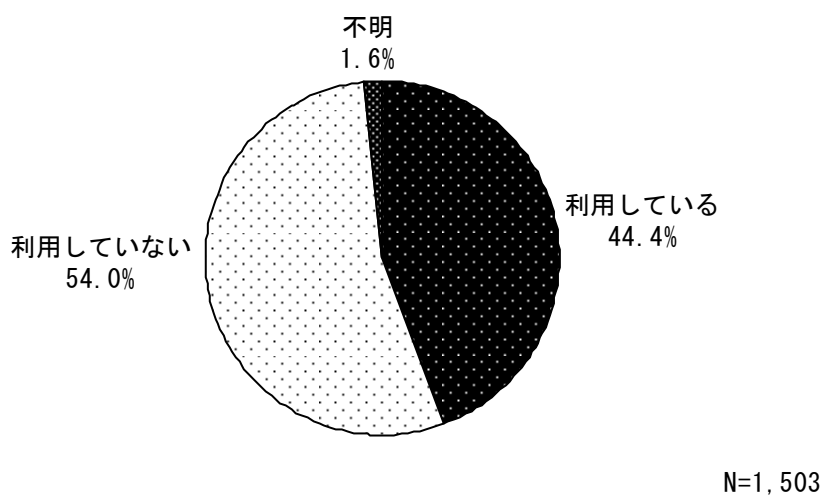
(2) 自宅でパソコンを利用してのインターネット利用率

問2. ご家庭でのインターネットの利用状況についておたずねします。

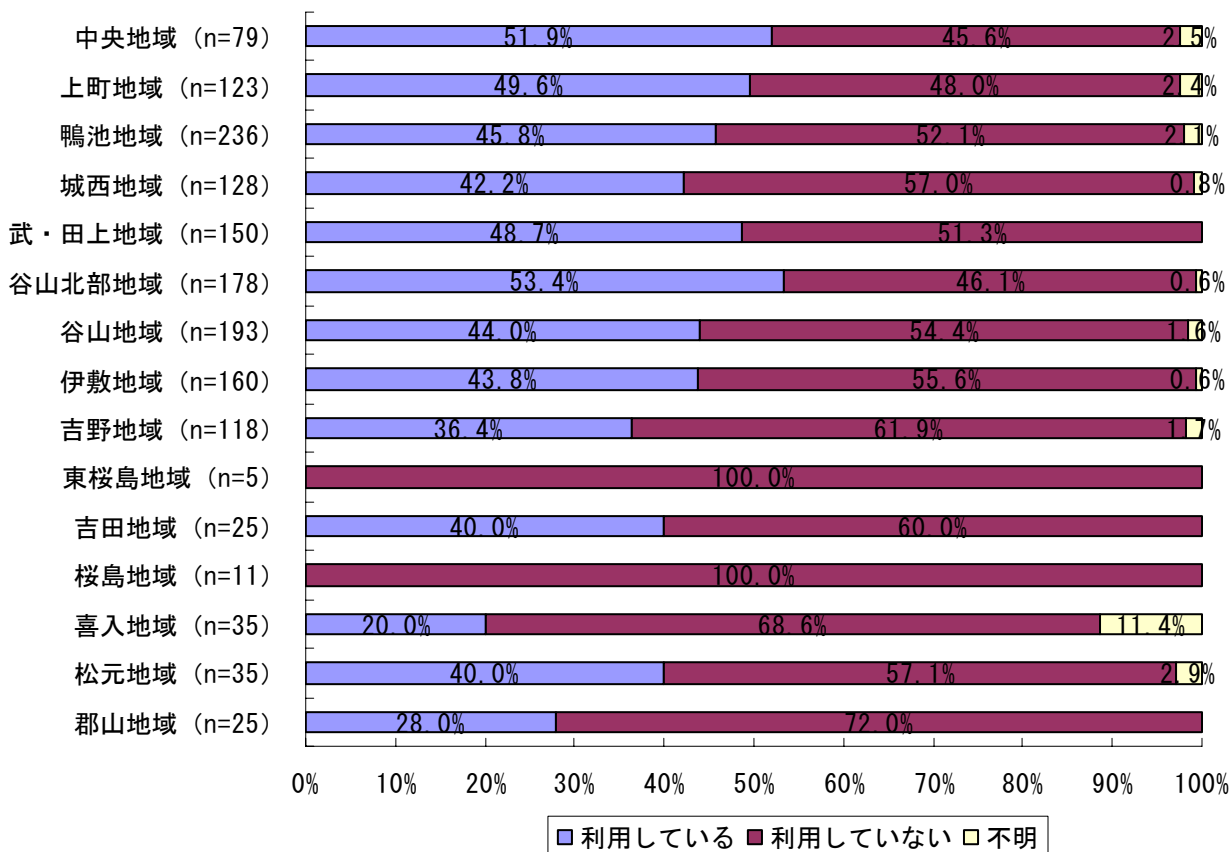
(1). 「自宅」で「パソコン」を使ってインターネットを利用していますか。(ご家族のうち、どなたかが利用している場合も含めます。また、携帯電話の端末のみでインターネットを利用する場合は含みません。) <単一回答>

自宅でパソコンを使ってインターネットを利用している割合は、44.4%で5割を下回った(図表2-3参照)。地域別にみると、「東桜島地域」と「桜島地域」が「利用している」が0%であった。但し、回答数が少ないため単純比較できない(図表2-4参照)。

図表 2-3 自宅でのパソコン利用によるインターネットの利用状況



図表 2-4 地域別のインターネットの利用状況

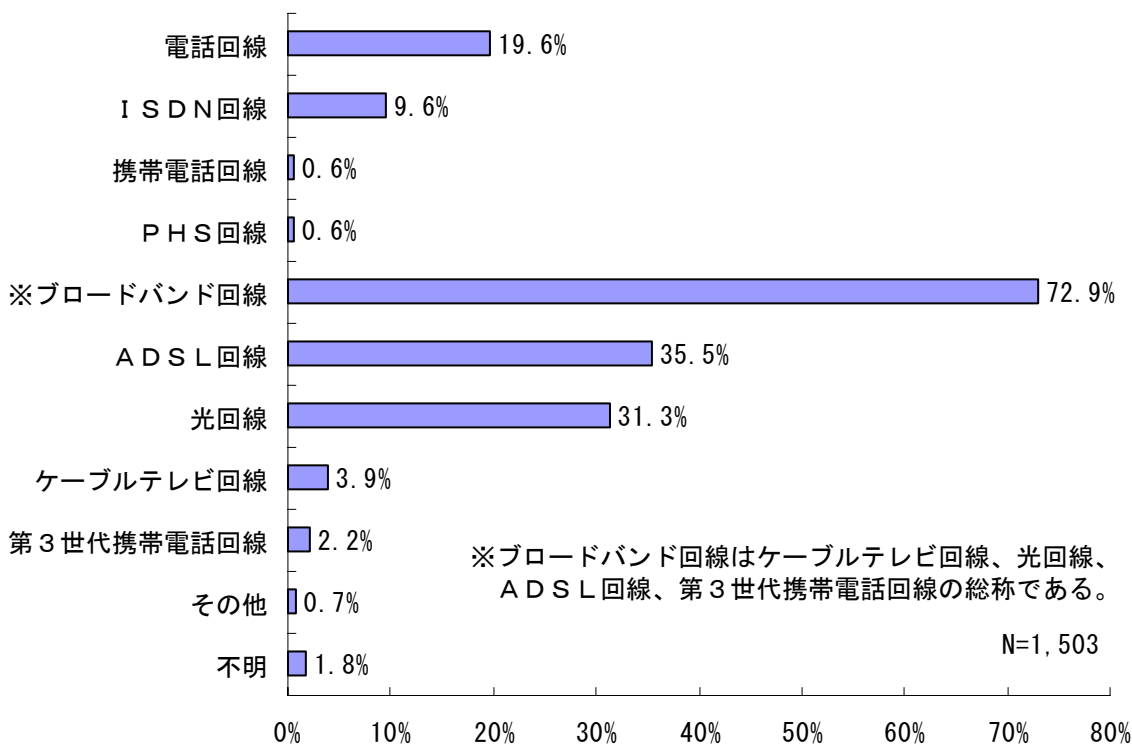


(3) 自宅でパソコンを利用する際のインターネット接続回線

問2(2). 問2(1)で「1. 利用している」を選んだ方におたずねします。「自宅」で「パソコン」を使って、どのような回線でインターネットに接続していますか。〈複数回答〉

自宅でパソコンを使ってインターネット接続をする家庭のうち、最も利用されている接続回線は、「ADSL回線」であり、その利用率は35.5%であった。次いで「光回線」が31.3%、「電話回線」が19.6%であった。「光回線」、「ADSL回線」等のブロードバンド回線の利用率が72.9%であった。

図表 2-5 自宅でのパソコンによるインターネット接続回線

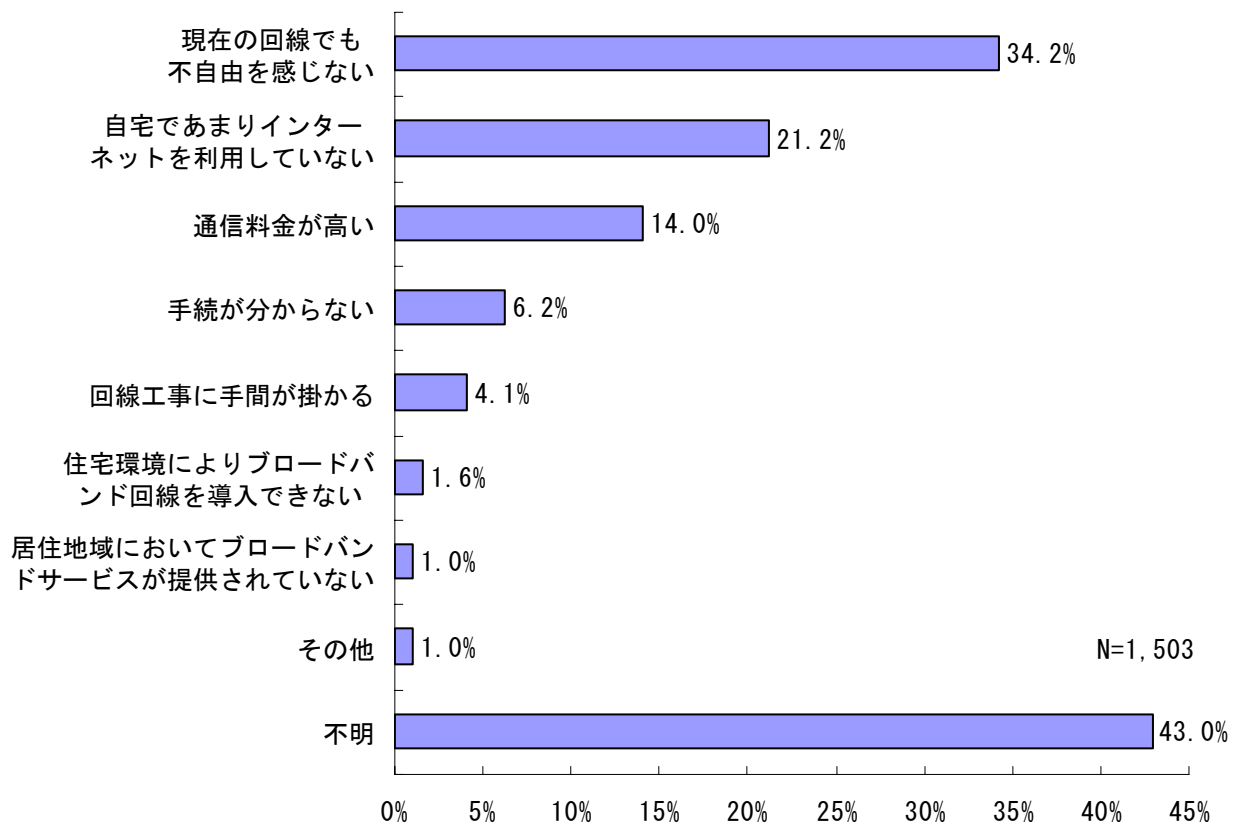


(4) ブロードバンド回線を導入しない理由

問2 (3). 問2 (2) で「ブロードバンド回線」に1つも○をつけなかった方におたずねします。
ブロードバンド回線を導入しない理由は何ですか。〈複数回答〉

自宅でブロードバンド回線を利用していない家庭のブロードバンド回線を導入しない理由は、「現在の回線でも不自由を感じない」が最も多く 34.2%であった。次いで「自宅であまりインターネットを利用しない」が 21.2%、「通信料金が低い」が 14.0%であった。また、「不明」が 4 割を超えている。

図表 2-6 ブロードバンド回線を導入しない理由



3. 個人の情報通信機器の利用状況及びインターネットの利用状況

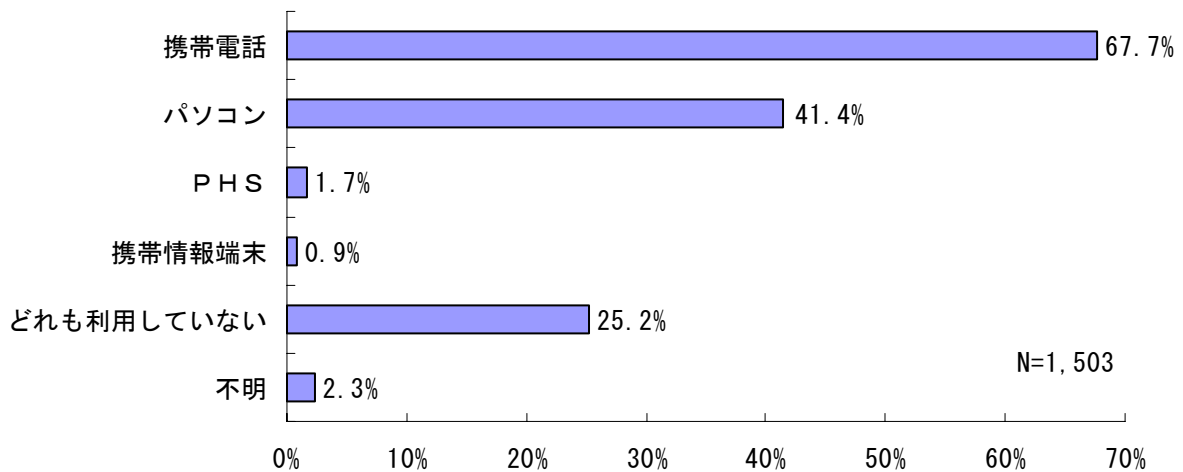
(1) 情報通信機器の利用率

問3. あなたは、次の情報通信機器を利用していますか。〈複数回答〉

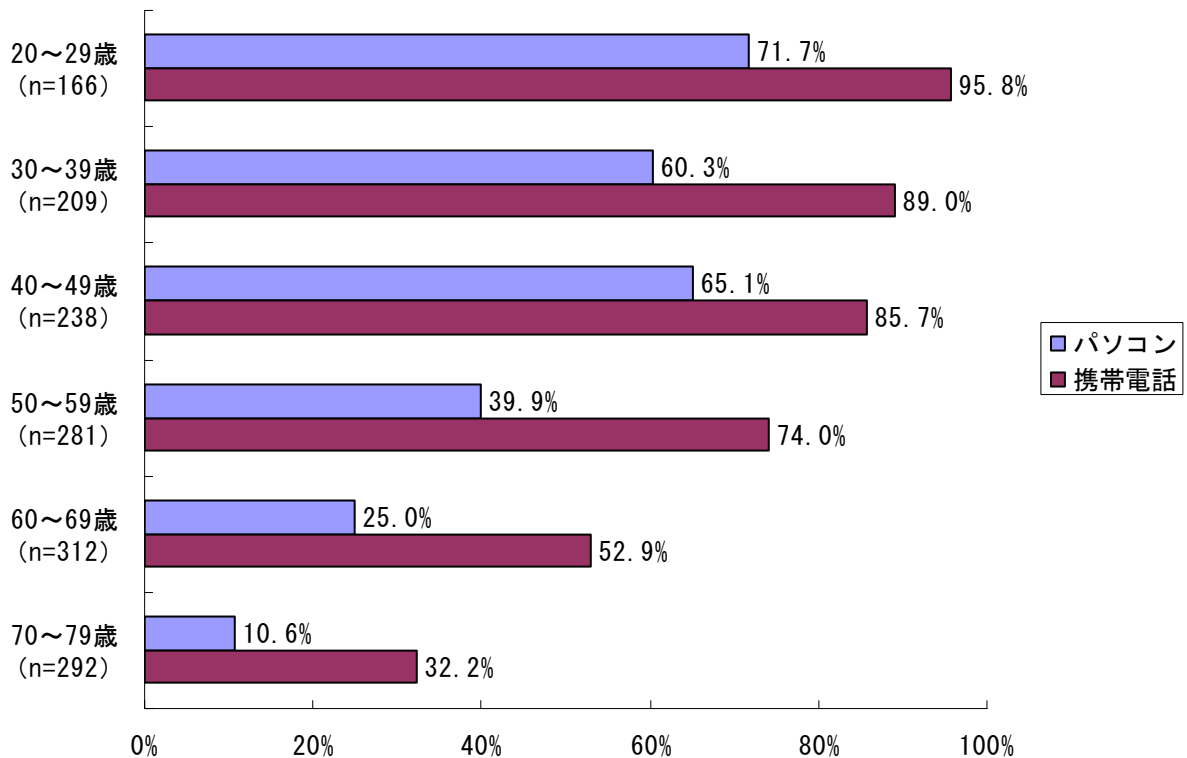
「携帯電話」の利用率が67.7%と最も多く、次いで「パソコン」が41.4%であった。「どれも利用していない」が25.2%で4人に1人が「携帯電話」、「パソコン」、「PHS」、「携帯情報端末」のいずれも利用していなかった（図表3-1参照）。

「パソコン」、「携帯電話」を年齢階層別に見ると、「パソコン」は20代から40代の利用率が6割を超えているが、50代以上は利用率が4割を下回っている。「携帯電話」は20代から50代の利用率が7割を超えている。60代の利用率も5割を超えているが、70代の利用率は3割である。「パソコン」・「携帯電話」とも20代と70代の利用率の差が60ポイント程度あり、年齢による格差が顕著である（図表3-2参照）。

図表3-1 情報通信機器の利用率



図表3-2 年齢階層別の情報通信機器の利用率



(2) インターネット利用率

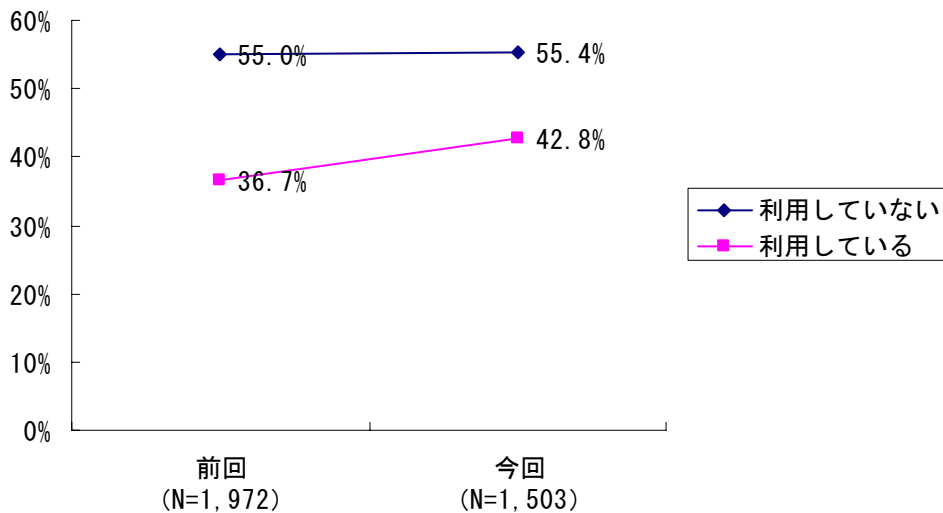
問4. インターネットの利用状況についておたずねします。

(1). あなたは、インターネットを利用していますか。〈単一回答〉

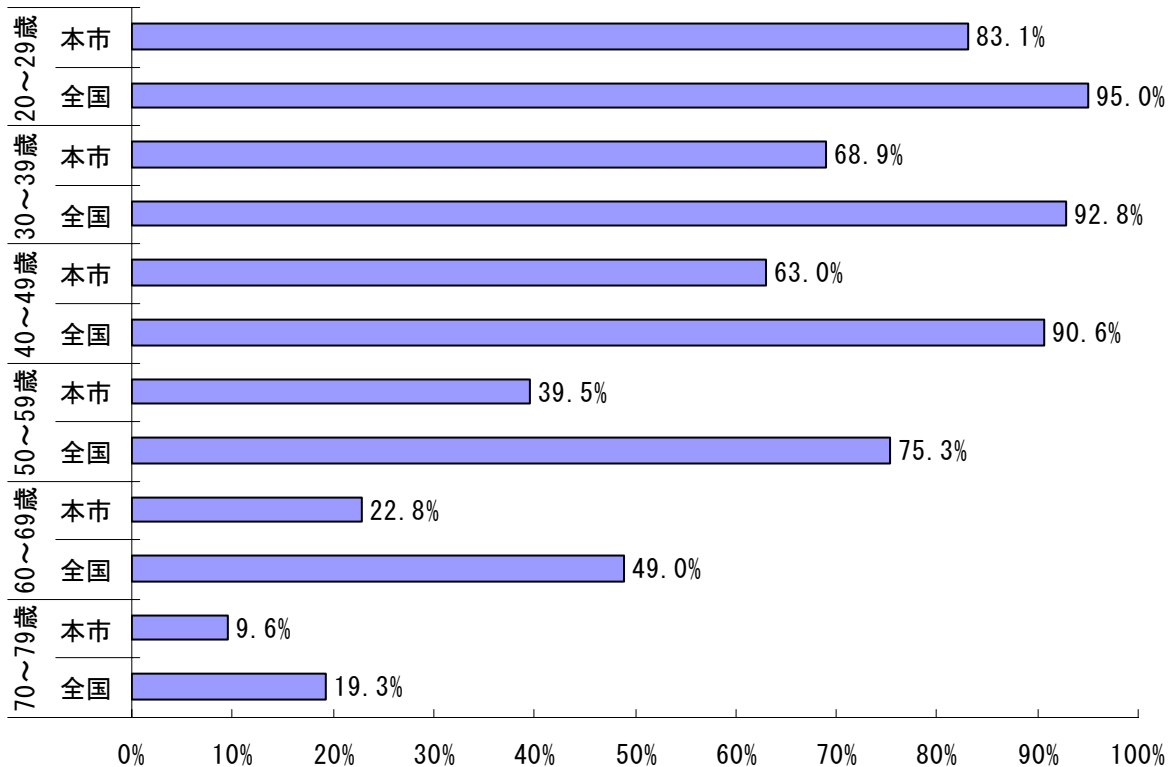
インターネットの利用状況について推移を見ると、「利用していない」は、ほぼ前回調査と変わりはなく55.4%であった。「利用している」は、6.1ポイント増加し42.8%であった（図表3-3参照）。

インターネットの利用率について年齢階層に別に全国平均（「平成17年度通信利用動向調査」総務省実施）との比較を行った。どの年齢層においても、全国平均を下回っているが、50代の全国平均との差が、35.8ポイントと最も大きい（図表3-4参照）。

図表3-3 インターネット利用率の推移



図表3-4 年齢階層別のインターネット利用率（本調査と全国平均との比較）



本調査n = (20～29歳:166、30～39歳:209、40～49歳:238、50～59歳:281、60～69歳:312、70～79歳:392)

(3) インターネットの利用頻度

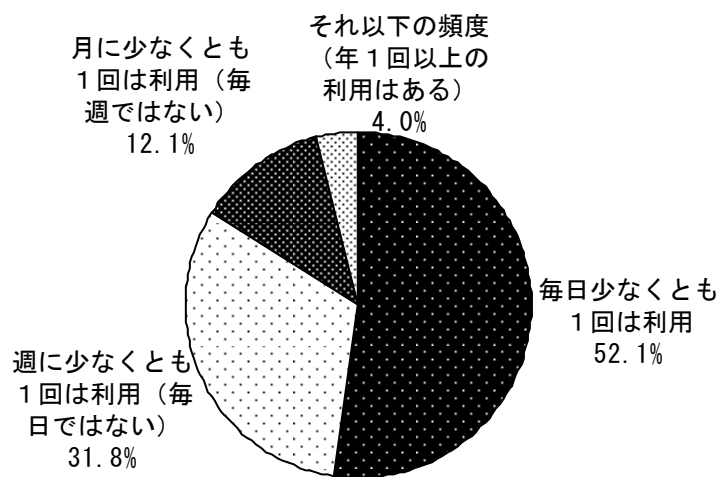
問4 (2). 問4 (1) で「1. 利用している」を選んだ方におたずねします。使用した場所に関係なく、インターネットをどれくらいの頻度で利用していますか。〈単一回答〉

「パソコン」からの利用は、インターネット利用者のうち、「毎日少なくとも1回は利用」する割合は52.1%であった。またこれに「週に少なくとも1回は利用」する人を加えると、全体の約8割超(83.9%)が週に1回以上の頻度で利用していることになる(図表3-5参照)。

「携帯電話」からの利用は、インターネット利用者のうち、「毎日少なくとも1回は利用」する割合は55.8%であった。またこれに「週に少なくとも1回は利用」する人を加えると、全体の約8割弱(76.0%)が週に1回以上の頻度で利用していることになる(図表3-6参照)。

■パソコン

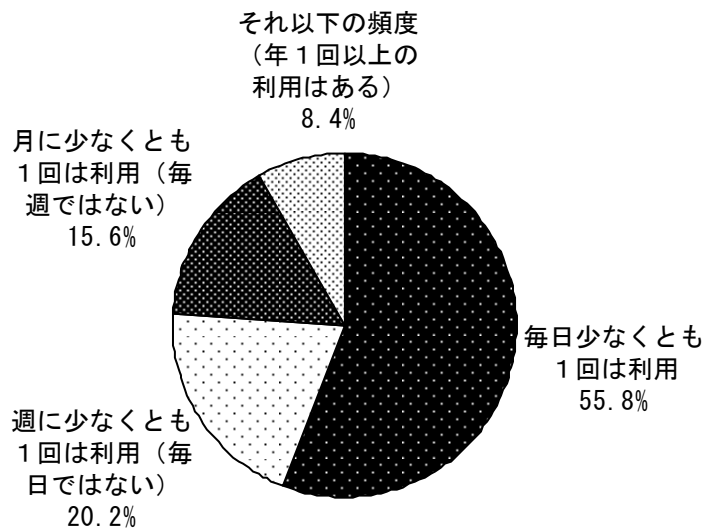
図表3-5 パソコンインターネットの利用頻度



N=1,503

■携帯電話

図表3-6 携帯電話インターネットの利用頻度



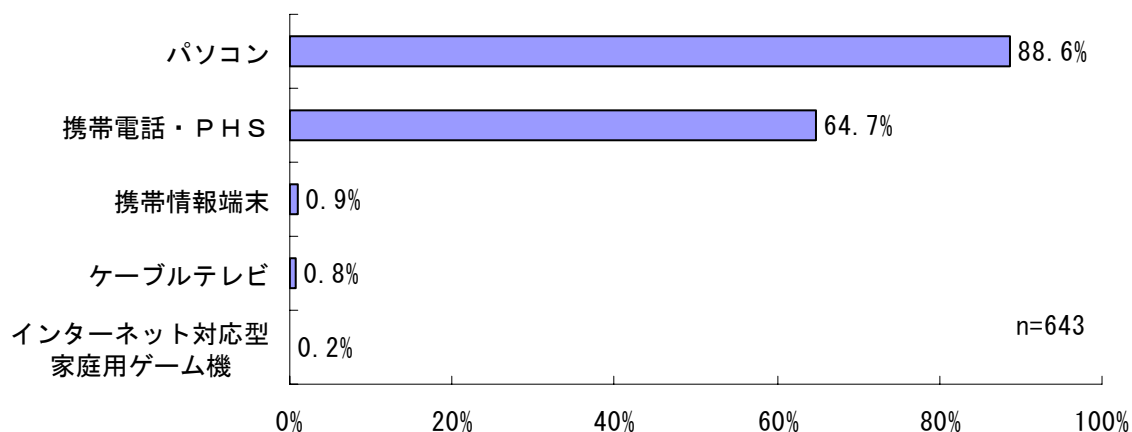
N=1,503

(4) インターネットの利用機器

問4 (3). 問4 (1) で「1. 利用している」を選んだ方におたずねします。どのような機器でインターネットを利用していますか。＜複数回答＞

インターネット利用者の利用機器を見ると、「パソコン」が利用者の88.6%で最も多く、次いで「携帯電話・PHS」が64.7%であった。「携帯情報端末」、「ケーブルテレビ」、「インターネット対応型家庭用ゲーム機」でインターネットを利用する人は1%を下回った。

図表 3-7 インターネットの利用機器

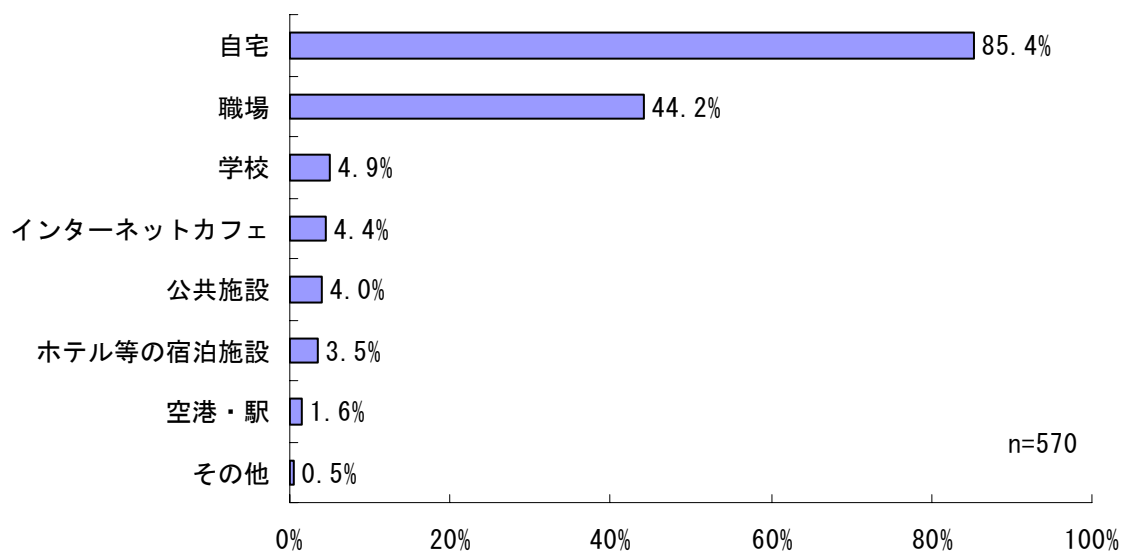


(5) パソコンインターネット利用の場所

問4 (4). 問4 (3) で「パソコン」を選んだ方におたずねします。パソコンでインターネットを利用した場所はどこですか。＜複数回答＞

インターネット利用者の利用場所を見ると、「自宅」が利用者の85.4%で最も多く、次いで「職場」が44.2%であった。「学校」、「インターネットカフェ」、「公共施設」、「ホテル等の宿泊施設」、「空港・駅」はいずれも5%を下回った。

図表 3-8 パソコンからのインターネットの利用場所



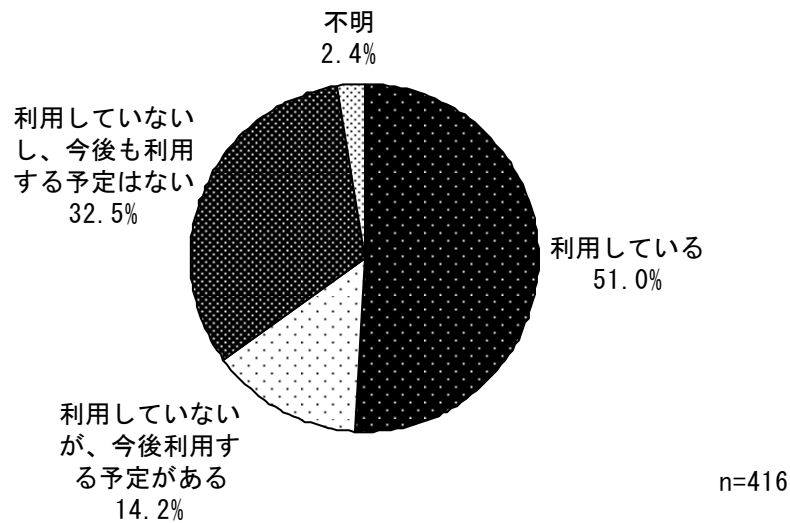
(6) パケット定額制サービスの利用状況

問4(5). 問4(3)で「携帯電話・PHS」を選んだ方におたずねします。携帯電話・PHSのパケット定額料金制サービスを利用していますか。〈単一回答〉

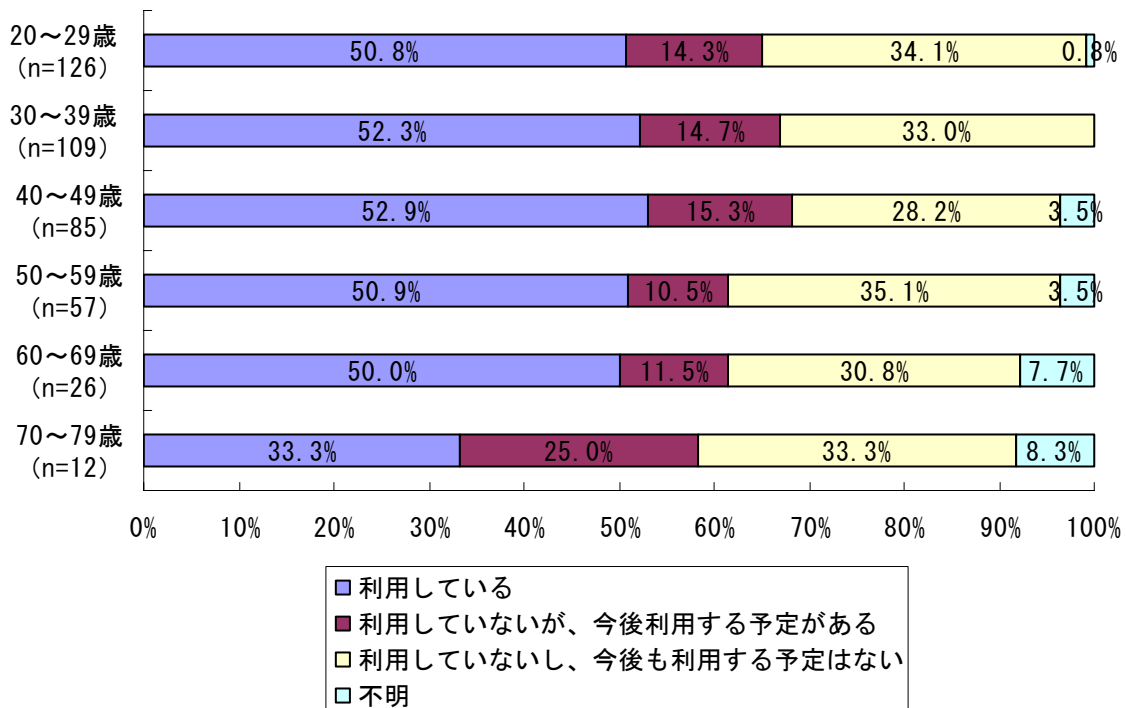
携帯電話・PHSのインターネット利用者におけるパケット定額制サービスの利用は、「利用している」が51.0%で5割を上回った。「利用していないが今後利用する予定がある」が14.2%、「利用していないし、今後も利用する予定はない」が32.5%であった(図表3-9参照)。

年齢階層別に見ると、「利用している」が70代を除き5割を上回り、「利用していないし、今後も利用する予定はない」は各年代とも概ね3割程度であった(図表3-10参照)。

図表3-9 パケット定額制サービスの利用状況



図表3-10 年齢階層別のパケット定額制サービスの利用状況

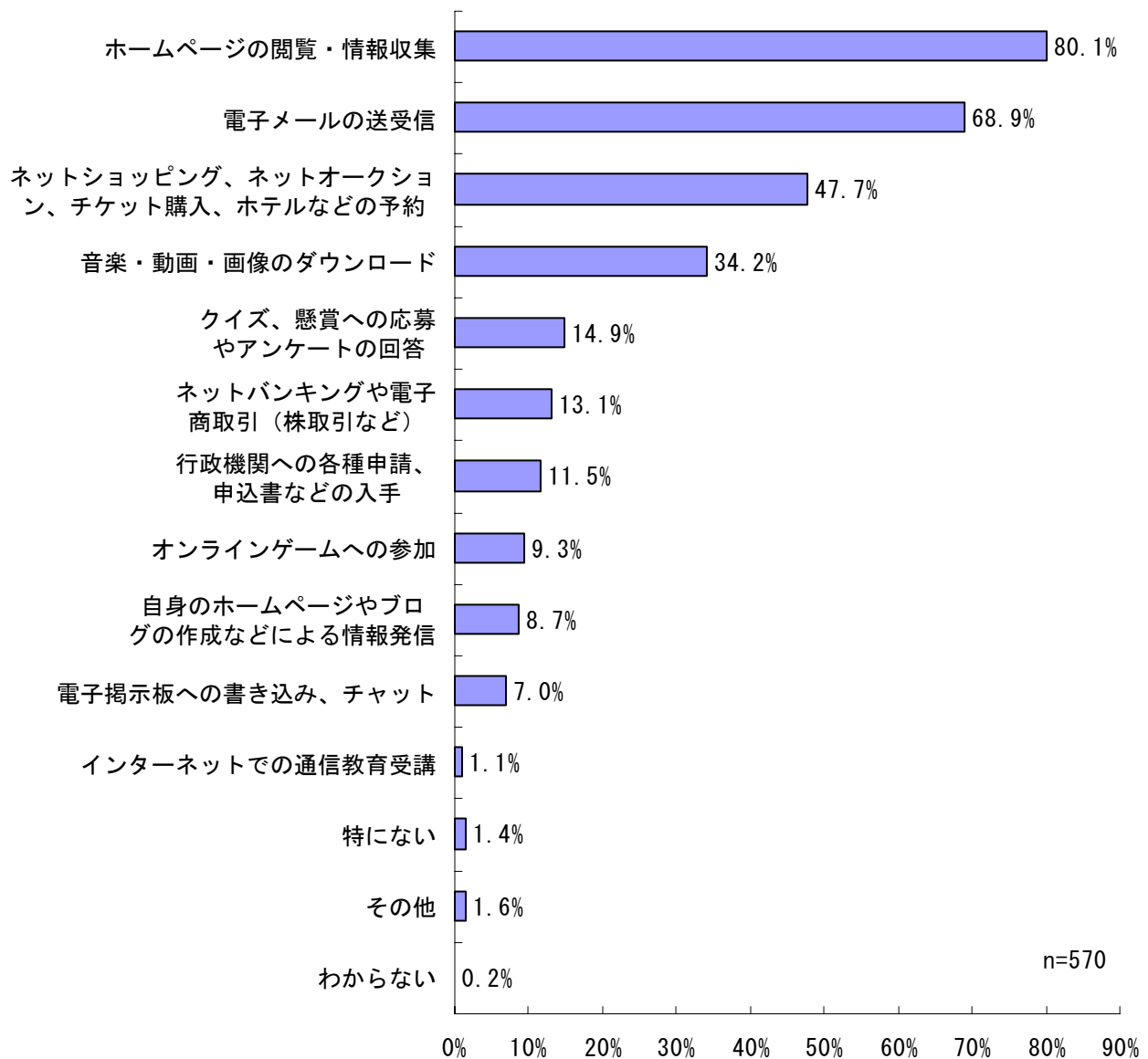


(7) インターネットで利用するサービス

問5. 問4(1)で「1. 利用している」を選んだ方におたずねします。どのようなインターネットのサービスを利用していますか。〈複数回答〉

「ホームページの閲覧・情報収集」が80.1%であった。次いで「電子メールの送受信」が68.9%、「ネットショッピング、ネットオークション、チケット購入、ホテルなどの予約」が47.7%、「音楽・動画・画像のダウンロード」が34.2%であった。「行政機関への各種申請、申込書などの入手」は、11.5%で、その他のサービスも2割を下回った。

図表 3-11 インターネットで利用するサービス



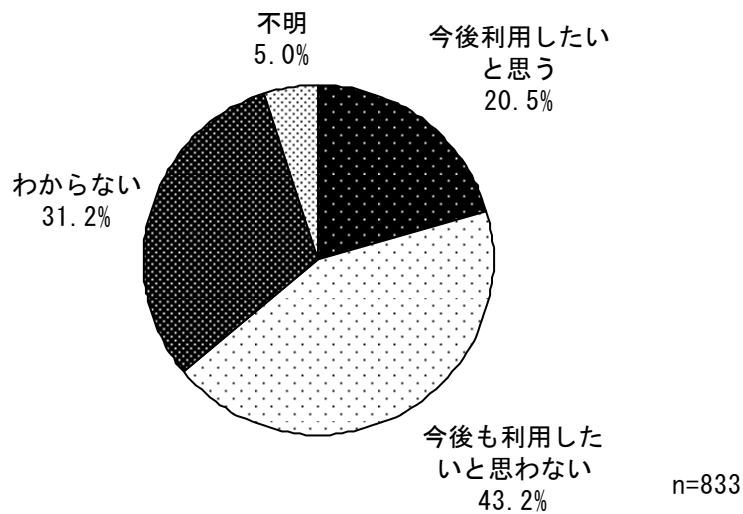
(8) インターネットの利用意向

問6. 問4(1)で「2. 利用していない」を選んだ方におたずねします。今後インターネットを利用したいと思いますか。〈単一回答〉

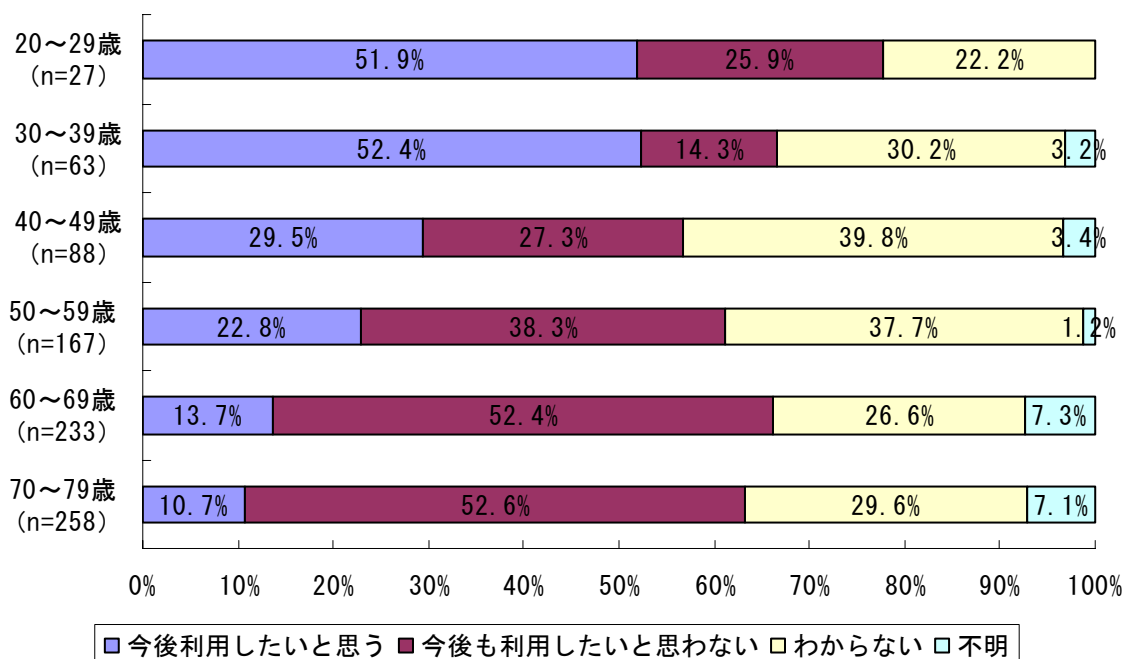
インターネット非利用者のうち、「今後利用したいと思う」が20.5%、「今後も利用したいと思わない」が43.2%で「今後利用したいと思う」を22.7ポイント上回った(図表3-12参照)。

年齢階層別に見ると、20代から30代は、「今後利用したいと思う」が5割を上回ったが、40代以上は3割を下回った。また、60代以上は「今後も利用したいと思わない」が5割を上回った(図表3-13参照)。

図表3-12 インターネットの利用意向



図表3-13 年齢階層別のインターネットの利用意向



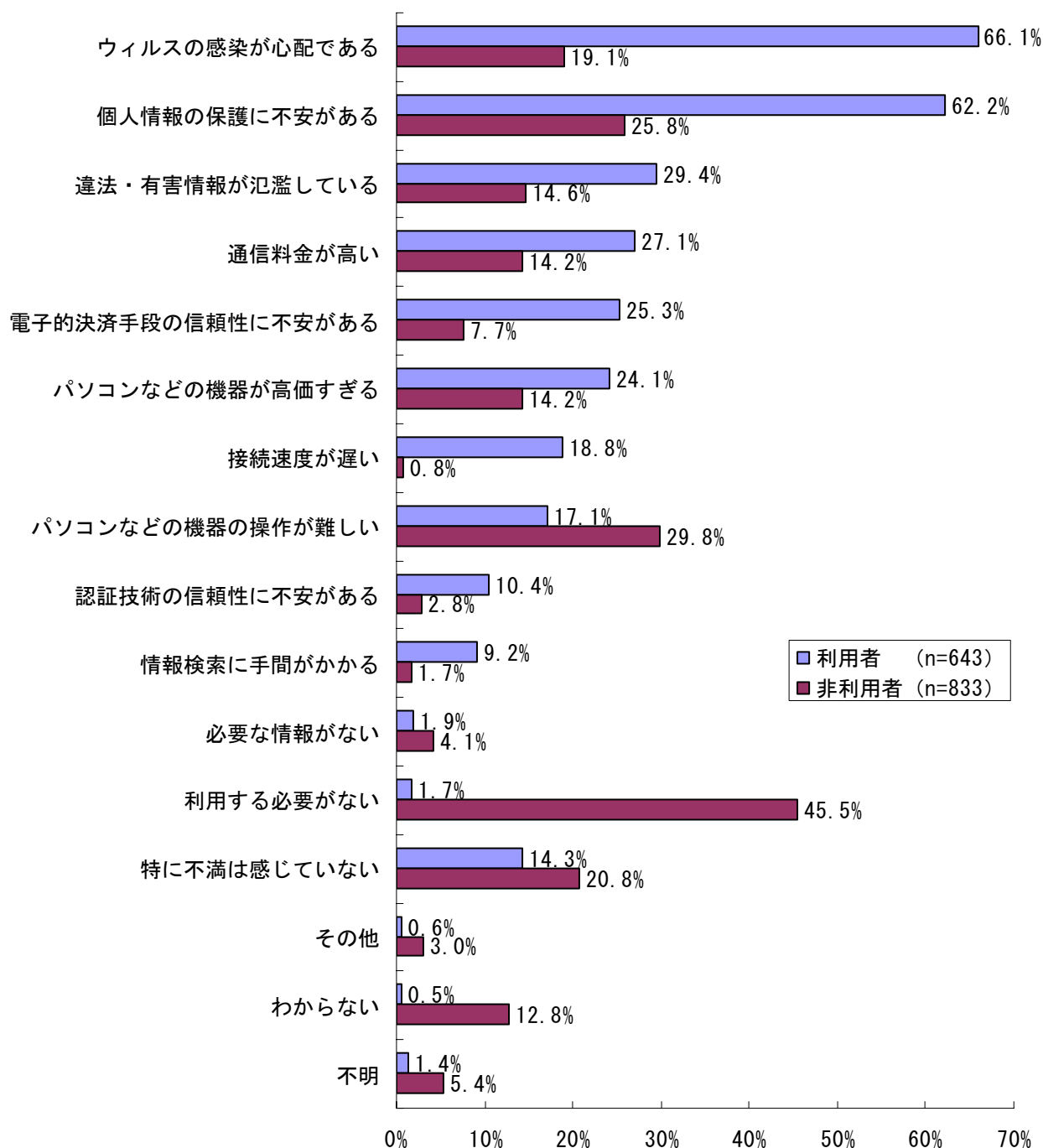
(9) インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由

問7. すべての方におたずねします。インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。＜複数回答＞

インターネットを利用して感じる不安や不満が多かった理由は、「ウィルス感染が心配である」で66.1%であった。次いで「個人情報の保護に不安がある」が62.2%であった。

インターネットを利用しない理由で最も多かった理由は、「利用する必要がない」で45.5%であった。次いで「パソコンなどの操作が難しい」が29.8%、「個人情報の保護に不安がある」が25.8%であった。

図表 3-14 インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由



4. 鹿児島市が発信する行政情報の提供方法

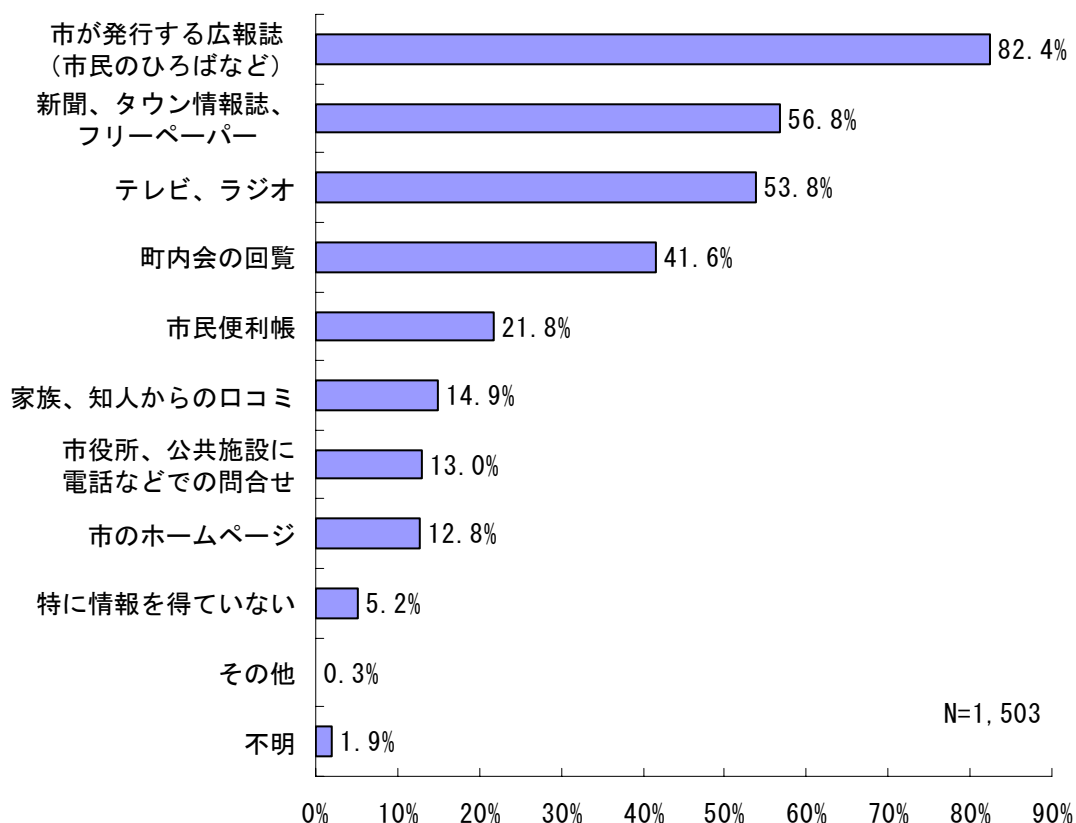
(1) 行政情報の入手方法

問8. あなたは、鹿児島市が発信する行政情報を、現在、どのような方法で入手していますか。

<複数回答>

鹿児島市が発信する行政情報の入手方法として最も多いのは、「市が発行する広報誌（市民のひろば）」が82.4%で他を大きく上回った。次いで、「新聞、タウン情報誌、フリーペーパー」で56.8%、「テレビ、ラジオ」が53.8%で5割超であった。従来の紙媒体や放送による行政情報の入手が多い状況である。

図表 4-1 行政情報の入手手段の状況



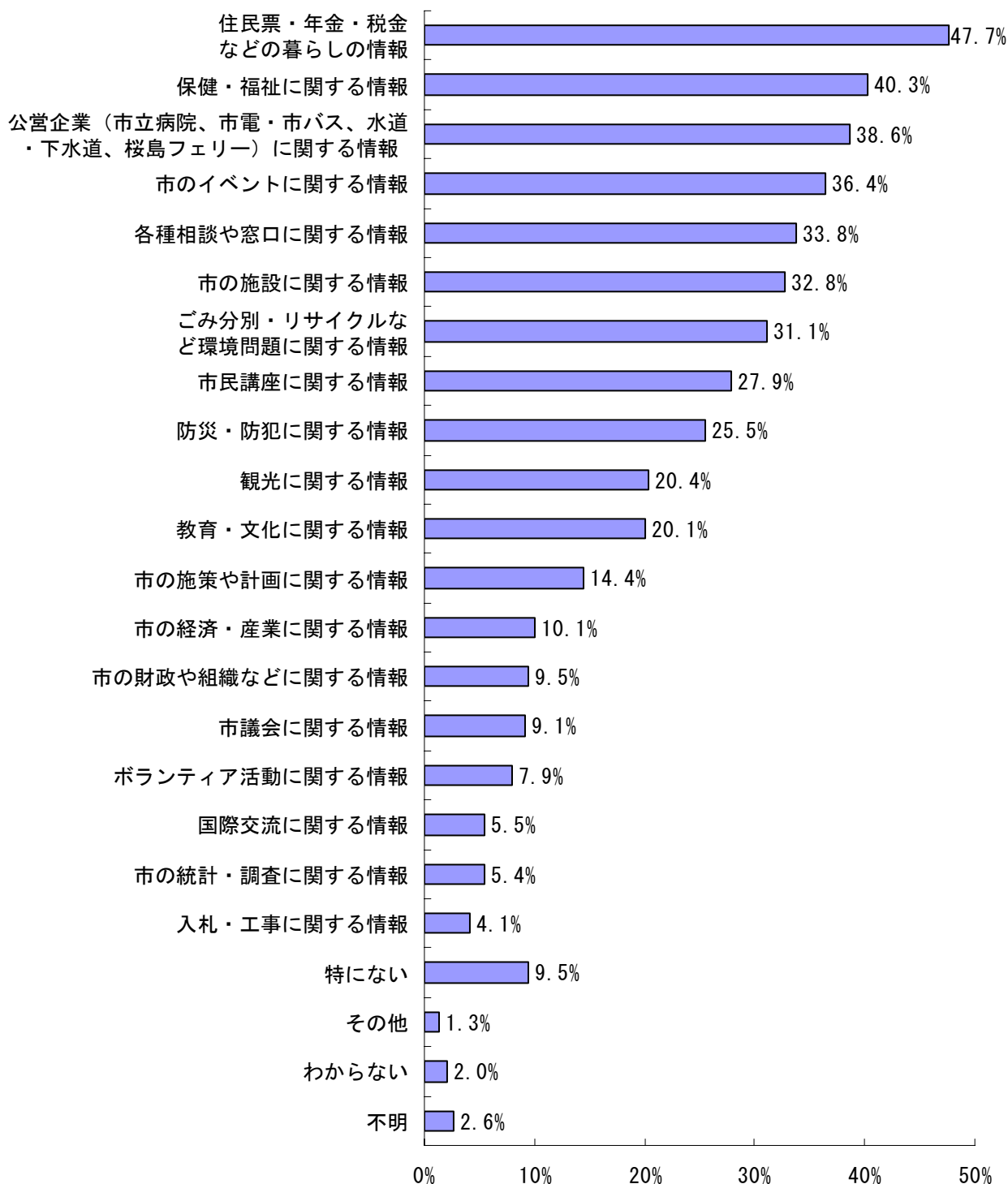
(2) 必要としているまたは関心のある行政情報

問9. あなたが現在必要としている、または関心のある市の情報は、どのような情報ですか。

<複数回答>

「住民票・年金・税金など暮らしの情報」が最も多く47.7%であった。次いで「保健・福祉に関する情報」が40.3%、「公営企業（市立病院、市電・市バス、水道・下水道、桜島フェリー）に関する情報」が38.6%であった。「市の財政や組織などに関する情報」、「市議会に関する情報」、「ボランティア活動に関する情報」、「市の統計・調査に関する情報」、「入札・工事に関する情報」は1割を下回った（図表4-2参照）。

図表4-2 必要としている、または関心のある行政情報



(3) 市ホームページの利用経験及び評価

問 10. あなたは、鹿児島市のホームページを見たことがありますか。〈単一回答〉

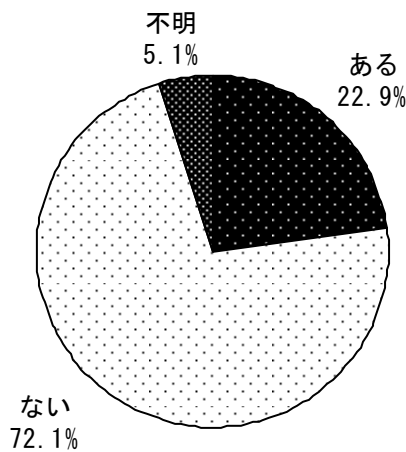
パソコン版のホームページの利用経験者は 22.9%、携帯電話版のホームページの利用経験者は 3.7%と低く、パソコン版、携帯電話版ともホームページの利用経験者が少ない結果となった（図表 4-3、図表 4-4 参照）。

ホームページに対する満足度としては、利用経験者のうち、「やや不満」・「不満」を合わるとパソコン版が 17.5%、携帯電話版は 23.6%で、パソコン版、携帯電話版とも不満と感じている割合は 2割程度であった（図表 4-5、図表 4-7 参照）。

パソコン版、携帯電話版とも不満を感じている理由は、「みづらい」と「情報がどこにあるか分からない」が上位であった（図表 4-6、図表 4-8 参照）。

■パソコン版

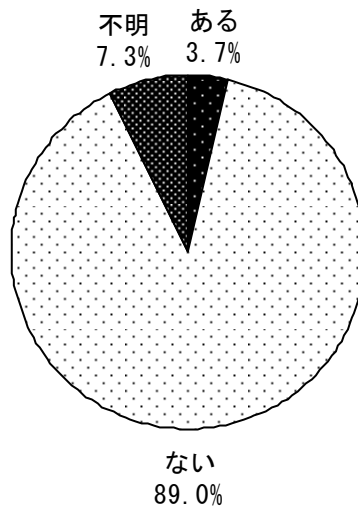
図表 4-3 市のパソコン版ホームページ利用経験



N=1,503

■携帯電話版

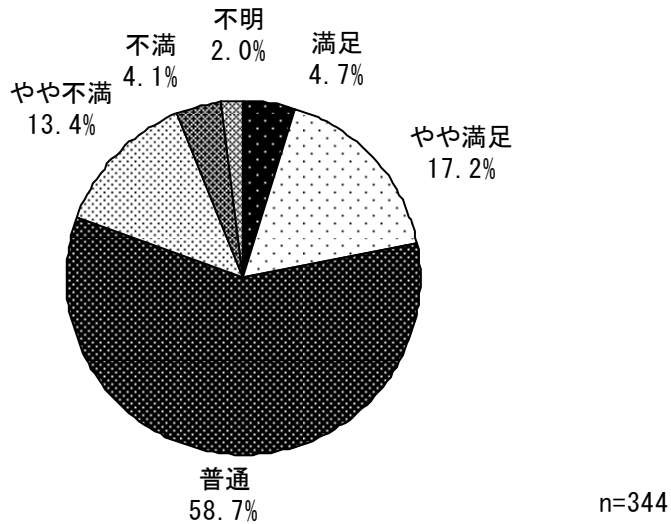
図表 4-4 市の携帯電話版ホームページ利用経験



N=1,503

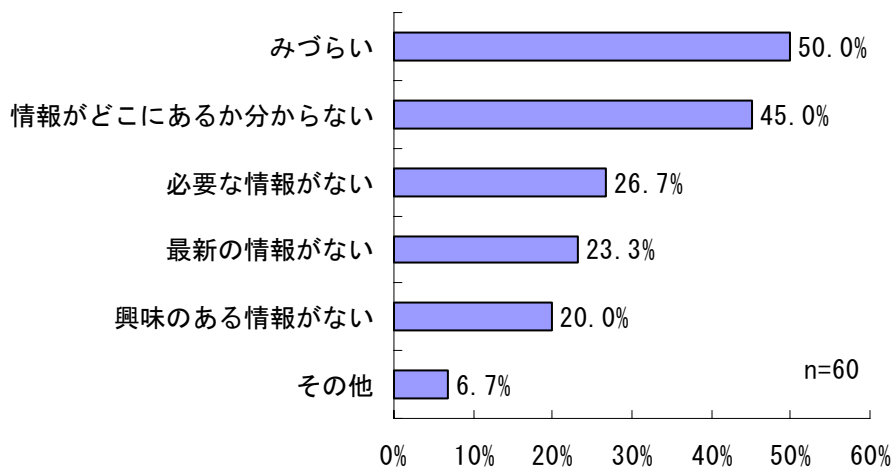
問 11. 問 10 で「1. ある」を選んだ方におたずねします。鹿児島市のホームページに対する評価をパソコン版、携帯電話版ごとにお聞かせください。
 (1). 「パソコン版ホームページ」を見たことがある方におたずねします。ホームページの満足度について、お答えください。〈単一回答〉

図表 4-5 市のパソコン版ホームページの満足度



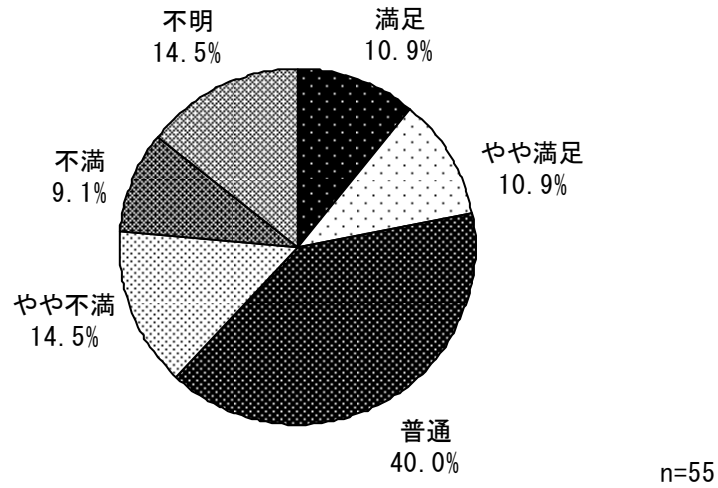
問 11 (2). 問 11 (1) で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。〈複数回答〉

図表 4-6 市のパソコン版ホームページの満足できない理由



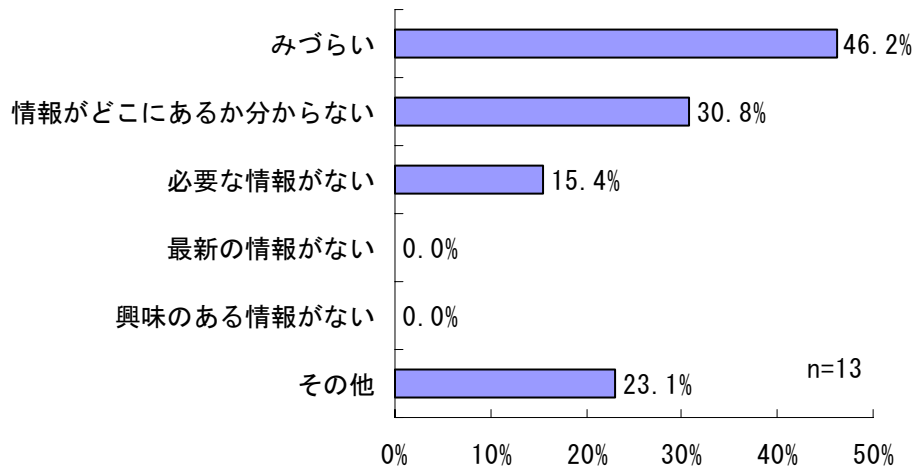
問 11 (3). 「携帯電話版ホームページ」を見たことがある方におたずねします。ホームページの満足度について、お答えください。〈単一回答〉

図表 4-7 市の携帯電話版ホームページの満足度



問 11 (4). 問 11 (3) で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。〈複数回答〉

図表 4-8 市の携帯電話版ホームページの満足できない理由



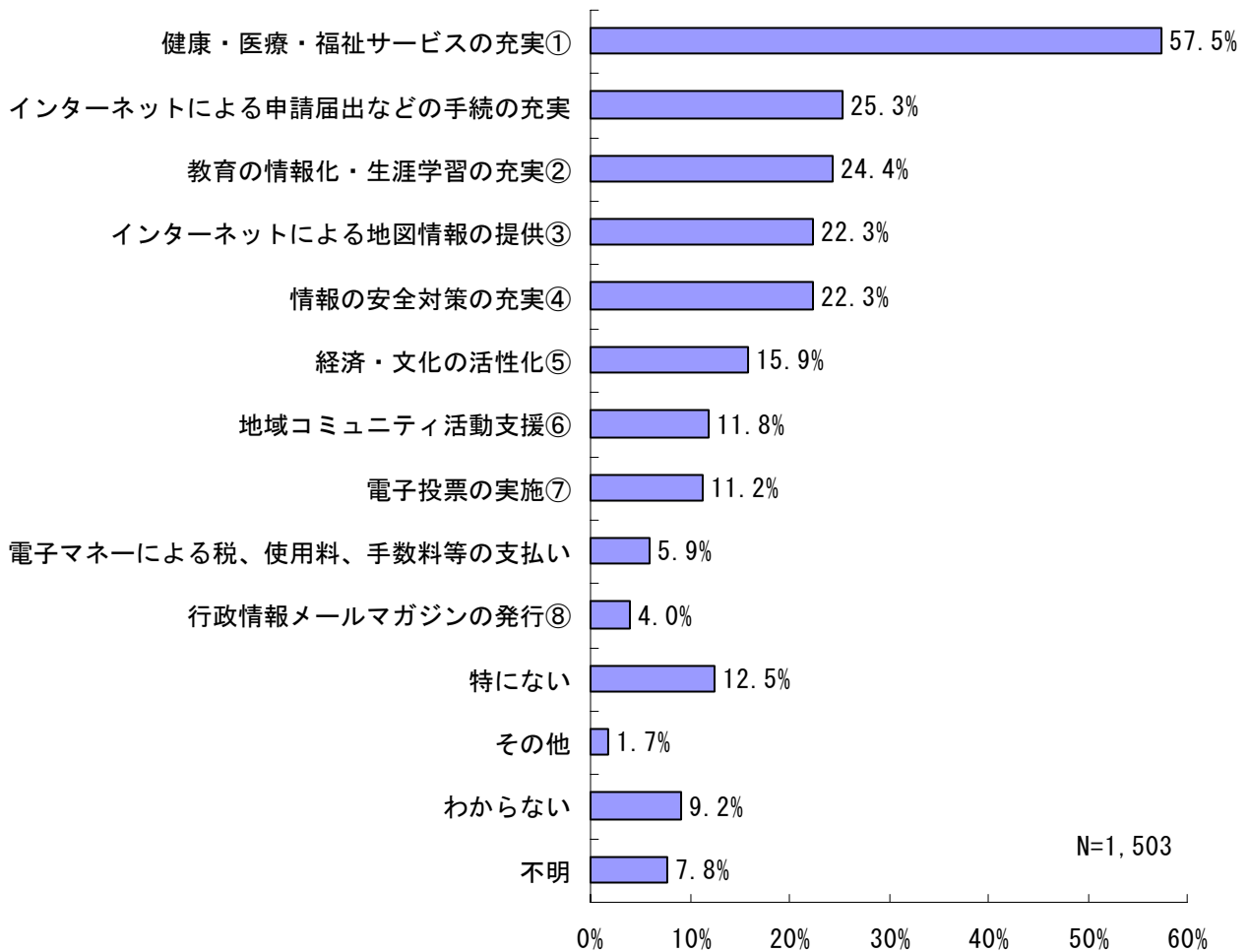
5. 情報化施策に関するニーズ

(1) 情報化による市民サービスの利用意向

問 12. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上を目指しています。あなたは、どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。〈3つまで回答〉

「健康・医療・福祉サービスの充実」が57.5%と最も高く、他を大きく上回った。次いで、「インターネットによる申請届出などの手続の充実」が25.3%、「教育の情報化・生涯学習の充実」が24.4%であった。「電子マネーによる税、使用料、手数料等の支払い」と「行政情報メールマガジンの発行」は1割を下回った。

図表 5-1 情報化による市民サービスの利用意向



上記サービスの詳細は次のとおり

①子育てに関する情報提供、高齢者向けの緊急通報システムなど
②情報通信ネットワークを活用した授業の実施、パソコン講座の充実など
③公共施設の位置、都市計画情報などの提供
④個人情報保護、情報セキュリティ、ネット犯罪対策など
⑤中小企業への情報化支援、文化・スポーツ情報の提供など
⑥市民参画への情報活用、電子会議室、地域ポータルサイトの開設など
⑦従来の手書きによる投票に代わる電子機器を利用した投票
⑧電子メールを利用して発行される雑誌の発行

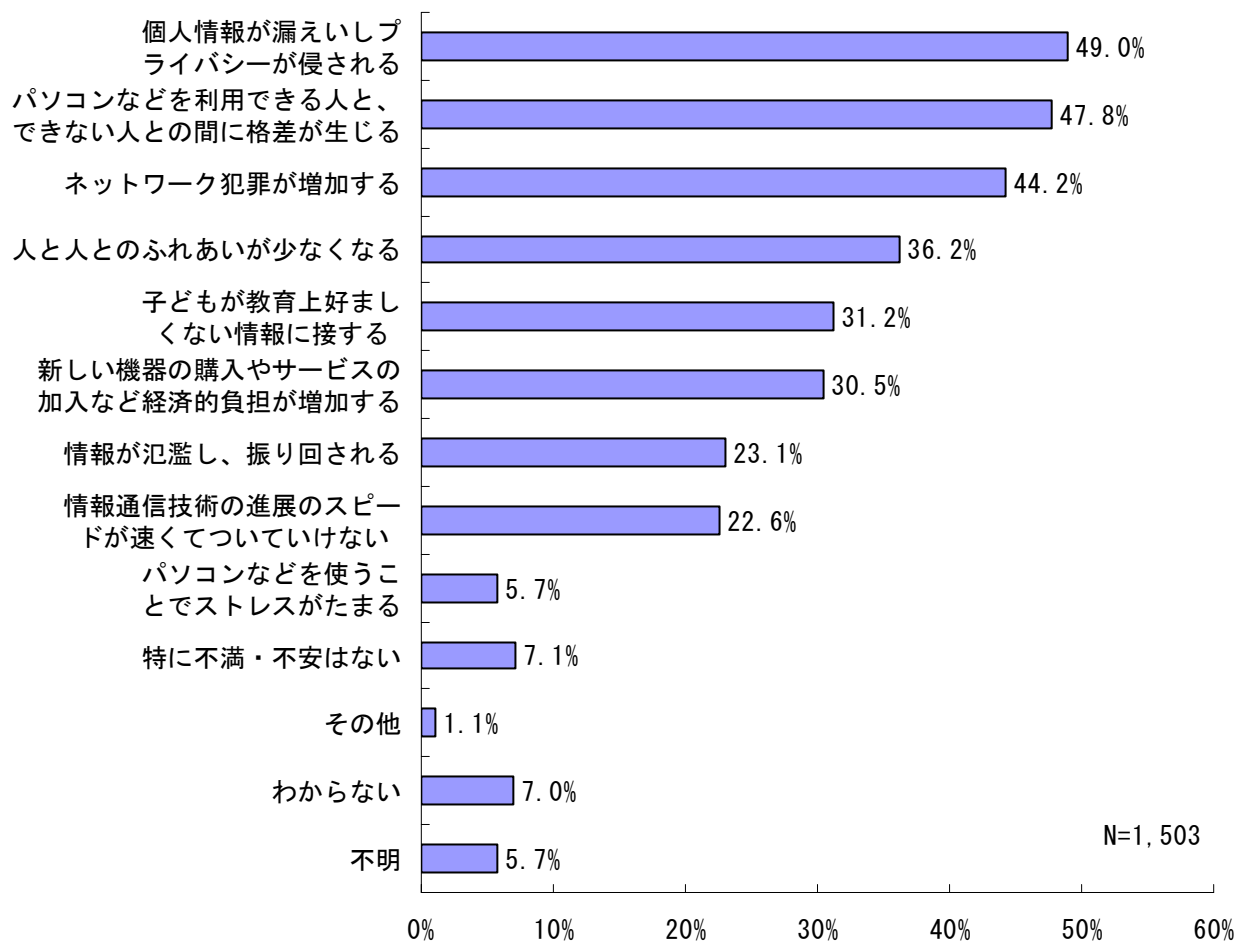
(2) 情報化に対する不安や不満

問 13. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じることがありますか。

<複数回答>

「個人情報漏えいしプライバシーが侵される」が49.0%で最も多く、次いで、「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が47.8%、「ネットワーク犯罪が増加する」が44.2%であった。次いで「人と人のふれあいが少なくなる」、「子供が教育上好ましくない情報に接する」、「新しい機器の購入やサービスの加入など経済的負担が増加する」であった。

図表 5-2 情報化に対する不安や不満



6. 情報化施策についての自由意見

(1) 自由意見の傾向

問 14. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

自由意見に寄せられた意見について内容を複数のグループに分類した。高齢者やパソコン等の情報通信機器を持たない情報弱者へ配慮した施策への意見が最も多く、次いで、情報化に対する不安・不満への意見も多く挙げられた。

図表 6-1 自由意見の分類

回答分類	回答数
情報弱者への配慮	52 件
情報化に対する不安・不満	23 件
インターネットによる情報発信の充実	22 件
セキュリティ対策の充実	15 件
情報通信技術を活用した市民サービスの充実	14 件
コスト問題	7 件
その他	9 件
合計	142 件

(2) 自由意見の内容

内容は、企業名等を削除し一部表記を修正している。

【情報弱者への配慮】

自由意見	年代	性別
インターネットの提供エリアを増やして欲しい。地域によっては I S D N 回線が利用出来ないのが不公平だと思う。リアルタイムで鹿児島市内の事件、事故等のニュースが欲しい。	20 代	女性
全てネット化するのもどうかと…特にパソコンを持たない方や高齢者の方。	30 代	男性
パソコンが使える人も、使えない人もどちらも公平に平等に扱えるそんなシステム作りをお願いする。今、使える人も年をとればパソコンに向かえる人も少なくなる。であるから、どちらの対応も速やかに分かりやすい、丁寧な対応をお願いする。	30 代	女性
横文字が増え年配の方々は理解しにくくなり不満の声も聞く。情報化も大切だが、分かりやすい日本人に親切な取り組みをお願いしたい。	30 代	女性
高齢者やパソコン等、情報機器に弱い方も分かりやすい、やさしい「情報化」をよろしく願う。	30 代	女性
情報化に力を入れるのは結構だが、情報は発信して終わりではない。又、HP 等への発信は構わないが、それ以外の方法にも力を入れてもらわないと HP 等を見られない人が情報をとれない。このアンケートに関してより詳しく実情を知りたいのは分かるが、設問が詳しくて分かりにくい。もっと簡単なアンケートが望ましい。	30 代	女性
インターネットをやりたいがお金がない。援助してほしい。	40 代	男性

自由意見	年代	性別
どこに住んでいる人でも同じサービスが受けられる様な通信網が必要ではないか。光しか通らない、アナログしか使えない、高い回線しか選べない、高速回線を利用できない等が、住んでいる場所でサービスの有無が決定されるのではなく、いつでも、どこでも住人が高い回線・安い回線を決定できる事が普及にもつながると思う。	40代	男性
鹿児島市は高齢者が多い都市だと思われるため。その方々にも分かりやすく、使いやすい物が求められる。文字だけではなく、絵や音声など人間の五感（感覚）に通じるものを。	40代	男性
情報化を進める事は非常に良いと考える。但し、役所の常として進めるスピードが遅いのではと心配。情報化は使える人と使えない人で格差は出てくるが、当然使えない人の為の対策をとって進めてください。	40代	男性
親子二人暮らし。障害者と高齢者。色々情報化は進んでいるが、とても二人とも理解できない。テレビ、ラジオ、市民のひろば等の情報収集である。今後インターネットも使用しないとと思っているのでその点を留意して下さる様願っている。「市民のひろば」はとても分かり易く、楽しく愛読している。色々御苦労も多いでしょうが頑張っていたきたい。	40代	男性
老人へのサービスで不公平が生じる。情報化とはパソコンを使うことだけではない。市民の声をいかに拾い上げるかなのでパソコンばかり重視する必要はない。	40代	男性
アンケート用紙を頂くまでは、鹿児島市のホームページを拝見したことはなかったが、次回からは活用していきたいと思っている。光回線が来ていないので、情報が遅いのが残念。	40代	女性
パソコンを持っている人だけが便利になるのではなく、保有していない人もちゃんと情報が得られるようにして欲しい。持っていない人がたとえ少数になっても。個人情報漏れたというニュースもよく聞くようになったので、そういったことがないように対策を何重にもして欲しい。	40代	女性
高齢者の多い地域に住んでいるが、高齢者の人によってはいろいろな福祉サービスを利用している方と利用していない方の差が大きいのではないかと考えている。もう少し分かりやすく情報を流してあげられたらいいのではないかと考えている。	40代	女性
市の情報化施策については、これからの高齢化に伴い、全ての市民が情報機器を使いこなせるようになるのは、かなり難しい問題だと思う。まず、市民に機械になれさせるのが第一段階だと思う。しかし、市役所へ行った際の職員の方々の迅速で温かい対応に感激いたし、海外生活の長かった私には、やっぱり日本って最高と思っている。大昔のお役所の怖いイメージなどなくなっていましたね。まるで、デパートに行った時のように気分良く対応していただきました。これからも、情報化を充実させながらも人と人のふれあいは大切にしていきたいと思う。	40代	女性
情報化の整備と称してIT事業を進めるといのであれば、弱者「高齢者や経済的事情」の人々の事を考慮した上での情報化が必要ではないか。情報も市民誰もが皆、平等に入手出来るものであってほしい。その為にも、IT化には市役所の職員の方々の血の通ったサポートが必要で重要だと思う。	40代	女性
表紙にかいてある(この調査についての)件を遵守してください。高齢者、障害者、社	40代	女性

自由意見	年代	性別
会的弱者が取り残される心配がある。すべてに公平な情報を。		
パソコン未経験者に対する教育の機会（特に成人や高齢者に対する）を公的なバックアップで頻繁に設けて欲しい。鹿児島の中高年齢層では、やはり、未経験者（未利用者）が多いと思う。公的機関からの情報発信の内容充実を。例えば、「市民のひろば」などの広報や色んなお知らせなどを。	50代	男性
緊急に必要な情報を取得したい時、果たして市役所のどこに連絡をすれば良いのか。行政側の独りよがりな部分はないか。未だ部署間でタライ回し的な状況に遭遇することがある。情報提供の細分化・専ら化は良いのだが、市民側に役所内のナビを有効に利用できる知識が行き渡ってないのは行政側に目線を少し下げることが必要であるように思われる。ややもすると、高度化の途をたどる傾向にあることを充分意識されたい。高齢化社会を迎える中、必然である。	50代	男性
初心者向けのパソコン無料講座を沢山もうけてほしい。	50代	男性
インターネットやパソコンの使えない人の事も考えて施策して欲しい。	50代	女性
インターネットや携帯電話などを使って情報を得るには年配の人には無理がある。市の情報（例えば、イベントとか観光、税や住宅のことなど）を知りたいときに、すぐ答えられる部署があっても良いと思った。電器の会社など専門の人がすぐ教えてくれる。	50代	女性
情報化施策が進んでゆくのはとても良いことと感じているが、利用できる人と利用できない人の格差がますます進んでいくような気がする。利用できない人は取り残された感じをとて強く受ける。利用できない人への施策も充分お願いしたいと思う。	50代	女性
パソコン教室の充実→回数、受講料の無料化・一般より低め。	60代	男性
広報誌等の充実感謝しながら拝見している。高齢化社会を迎え、すべての住民が情報通信機器を操作して、公正に行政サービスを受けることは至難のことと思う。市民の意志次第で直接に、あるいは家族を介して安全に受けることが出来る情報サービスを充実することが大切。申請・支払い・投票等の電子サービスは、家庭用の電話機器等の発展に従って次第に検討が進むような感じがする。	60代	男性
行政の情報化がIT優先の考え方では市民へのサービスに格差が生じる。パソコンもメーカー（機種）によってはウィルス対策のサービスがなくなり、インターネットが思うように出来なくなるのではと不安である。	60代	男性
高齢者を対象にパソコン教室をたくさん実施してほしい（インターネット教室等を）。	60代	男性
市民の皆様は手に取るように分かるようなものにして欲しい。特に今は、高齢化社会なので、外出をしなくても、書類の届出や納税などが出来るようにして欲しい。よろしく願う。	60代	男性
私達はパソコンなどが特に必要ないため、時代に取り残された気はあるが、諦めている。私達は、今までに使ってきた情報手段だけで今からも生きていくつもり。そういう年配の人間が沢山いることを考えて情報を流して頂きたいと思う。	60代	男性
情報化施策の一般論としても言えることだが、情報化による行政サービスもハードがある、なし、にかかわる市民の格差が生じている。致し方ないといえばそれまでだがIT社会を形成している現在、何とかしてその差を縮小させる方策が必要ではないだ	60代	男性

自由意見	年代	性別
<p>ろうか。市民サービスの為のホームページを開き、微に入り細に入った説明を記載しているが、あまりにも煩雑すぎて理解し切れない所もあるので、できたらもう一回見直し、検討を加えて欲しい。</p>		
<p>パソコン等で市の情報を知ってもらいたいならば、パソコンの使い方を教えてくれると市民は助かる。そんなことをやってくれれば、市民はパソコンを買って、世界の中についていけると思う。</p>	60代	女性
<p>まず、アンケート集計後、まとめ（結果）を知りたい。情報化施策を推進するにあたって、小・中・高でIT教育をしっかりしていただきたい。パソコンが使えない市民は困る。買い物で外出したら、ダイエー（中央町）の7Fのパソコンを使って市の情報を閲覧できる。パソコンを買ってなくても使用できたら情報をキャッチ出来る。老人でも、使えるように簡単に使用出来る方法を検討していただきたい。文字を大きく。使用方法も簡単に図示。音声ガイドを使って簡単な説明で閲覧ができるように工夫していただきたい。余計なことかもしれないが、市役所の1階の待合室をもっと有効に。（パソコンを置いて活用してほしい。）暇な老人の暇つぶしの広場では、現在もったいないスペース。改善していただきたい。市民相談室の相談もメール・電話等でできるように検討してほしい。相談員もITのできる人を採用。職業（P1）のアンケートの内容が現代社会にマッチしているか検討すべき。家事は男女問わず生きる為にしている。例 家事はしているが、遺族年金でくらしている主婦。家事の仕事以外していない無職の主婦が家事従事者に○をするのは反対しないが、現代の主婦業を職業とみなすのは納得できない。個人の集計をファックスで回答できるようにしてほしい。個人の集計（回答）をメールで送信できるようにしてほしい。郵送、ファックス、メールのいずれかで送信できるよう工夫していただきたい。</p>	60代	女性
<p>今、取り組んでいるパソコン講習会を今一度大々的に開催し、市民のITに対する関心に答えてはいかがか。現在行われている講習会もあるが、受講人員制限又は、受講出来ても日数が短い為など中途半端な気がする。一般のパソコン教室などは受講料が高いため経済的負担がかかる。その点でも市での無料でのパソコン講習会開催に感謝する。今一度検討いただきたい。</p>	60代	女性
<p>私みたいに（66歳）情報機器に弱いものには、今まで通り市民のひろば等をよくよく見て、読んで、覚えておくしかない。「市民のひろば」等の充実を望む。</p>	60代	女性
<p>便利な世の中になりますます貧富の差が広がっていく。そうなると犯罪も増えていくと思う。その根拠に子供の教育があり、その教育を見逃してはいけないと思う。中にはネット上で莫大な金儲けに興味を持っている小学生がいると聞いたことがある。本当の義務教育というのはどういう教育なのか。これで良い世の中が来るのか。70代近くになると引っ込み思案になる傾向がる。でも、パソコンも自由自在にこなしたい気持ちは十分にある。そこで、60代以上を対象に初心者特別講座が開かれると嬉しい。以前IT講座「鹿児島市らくらくインターネット塾」を2回受けたことがあった。ちょっとレベルが高すぎて自分のもの出来なかった。私達より若い人が多くてさっさと進めていかれたような気がする。もっと時間をかけてゆっくり進めていく講座があるといいなと思った。</p>	60代	女性

自由意見	年代	性別
老人に対するパソコン教室など、情報機器の使い方をもっと身近な所で開設してほしい。(例えば、各町の公民館等)「市民のひろば」等で応募してもなかなか番がこない。1、2日の間で教えるのではなく、ゆっくりと時間をかけて教える教室を開いて下さい。個人情報ということではなかなか教えていただけないことがある。	60代	女性
コンピュータ等が利用できない人への情報発信をどうするか考えてほしい。大雨、台風時等細かく情報発信出来るよう、ブログ・PC掲示板の事前準備を。昨年の宮崎市水害時参考に。ブログされて分かりやすかったので。イタズラ防止に書き込みは管理者へメルアド(フリーメール不可)登録にすればよいのでは。	70代	男性
パソコン講座が自由に受けられるようにして(日、時、人数制限、無料)くだされば有難い。	70代	男性
公民館等のパソコン講習会をもっと充実してほしい。民間での講習会は料金が高すぎる。いつでも誰でもパソコン講習を受けられるようにしてほしい。今は宝の持ち腐れである。	70代	男性
高齢化に応じて簡便な情報伝達の機能を考慮してほしい。私は視覚障害者なので、情報に関する不安を感じている。	70代	男性
市の広報誌(市政だより)は大変ためになる。もう少し充実した記事を掲載してほしい。マンネリ化にならないように新しい情報を。楽しみにしている。我々高齢者は市の情報を市政だよりで知ることが出来本当に有難いと思っている。	70代	男性
市の情報化施策は良い施策と考えるが、老人は情報通信機器(パソコン・インターネット接続)の操作が出来ない。公民館単位で老人(70歳以上)向けに機器の取り扱い(操作)の講座を提供していただきたい。若者のように飲み込みは良くない。	70代	男性
私は74才で、パソコン、携帯、デジカメ、ビデオカメラ等の初歩的ながら趣味を持ち楽しく多忙な日常である。一方、私は高齢者集団の役をしている。そこで感じることは、世間ではITのインターネット、ホームページ、デジタル化など盛んに呼ばれている。私の集団1000人余りの高齢者がいるが、語ってみると殆どの方々がホームページなど特に携帯電話すら持たずの状況である。買うお金はあっても、取り扱いが苦になるような話ばかりである。そこで、市民講座の場を多く設けて、誰でもIT機器がなじめるようにして欲しい。	70代	男性
私共は年寄りで暮らしている。今の情報化にはついていけないのが実情。年寄りにも分かり易く工夫して頂きたい。特に災害に対して。	70代	男性
色々な情報通信機器があるが、その操作は簡単ではない。パソコンを例にとっても、文書作成・表計算・メール・インターネットなど数多くのソフトによる操作がある。情報通信のためだけにパソコンを利用するのはあまりにも無駄な代物だと思う。また、故障もあり、修理、買い替えにも経済的負担が大きい機器である。現在何%の人がパソコンを持ち、何%の人が操作出来るのだろうか。まだまだ、若年者でもパソコンの操作が出来る人は少ないと思う。まして、高齢者など1%も出来る人はいないのではなからうか。使いこなしている者にとってはこれほど便利なものはない。情報通信機器を利用して市民サービスは、5年、10年では無理ではないかと思う。それまでは、まだ、印刷物による情報伝達、申請、届出などが必要となるだろう。	70代	男性

自由意見	年代	性別
<p>パソコンや端末機器が市民に行き渡っていないのに、インターネットを使ったり、各種申請や届出や各種支払いなどを電子化するのはどうかと思う。情報化の為の機器などが無償で使えて、又は市民に無償で貸与するなどが実施されて初めて、情報化の価値が出るだろう。さもなければ、IT機器メーカーに機器の売り込みの口実を与えるだけであり、犯罪を助成する温床を作ることになると思う。又、老人にとっては今の情報機器（家電を含めて）のメーカーの取扱説明書は理解できない。独りよがりて訳の分からない用語が氾濫している。鹿児島市が情報化する場合は今のパソコンや情報端末機器（これからは広範囲の用途に向くように設計されているので無用の情報が多過ぎる）を対象とせずに、操作が簡単で市が必要とする情報、市民が利用できるサービスや手続きなどの用途に向くように簡素化された情報端末機器を開発した後に実施するのが良いだろう。それまでは、パソコンやインターネットを利用している人と利用していない人との間に格差が出て仕方がない。但し、インターネットや情報端末機器を持たない人が不利をこうむるような施策は避けていただきたい。（例えば、電子化がどんどん進んでしまって役所の窓口では手続きできず、パソコンなどを通してしか手続きが出来なくなるような事態。又は、インターネットで通知したからとか、市のホームページに載っているからとかで市民に必要な重要な情報を伝える広報誌を廃止するとか。）</p>	70代	女性
<p>最近横文字が多く、私共高齢者には非常に分かりづらくなり、時代が進歩し、常に勉強が必要なのだと痛感している。市民のひろばにでもちょっとした単語意味ページを望む。</p>	70代	女性
<p>情報取得の手段が、インターネットによるものに集中されることで、この方法を利用できない人々が一方で増えていくことが憂慮される。簡単な操作でインターネットが使用出来るよう操作面の改良など、普及方法が同時に進行されるべき。特に機器の教育を受けていない高齢者層への操作教育をもっと推進することを考えていただきたい。例えば、市民・・・等へ何回申し込んでも参加できない。</p>	70代	女性
<p>年寄りパソコンなどついていけないので、配慮をお願いします。</p>	70代	女性
<p>高齢化が進んでいるので、年寄りにわかるような言葉で、分かりやすい方法により生活に密着した内容をお知らせくださるよう願う。様々な機器を使用する若い人たちとの情報差が拡大しないような施策をお願いします。</p>	70代	女性

【情報化に対する不安・不満】

自由意見	年代	性別
情報がインターネットなどで得られるのは良い事だし、楽だとも思うが、その反面ネット上での犯罪やプライバシーの保護、ウィルスなどの心配がやはりある。あと、進化が早すぎておいつかないような…。(あまり利用しないので)ある程度でいいと思っている。チャットでの交流も良いが、やはり目と目を見て、直接言葉を交わすのが一番だと思っているので、利用しつつ人の繋がりを大事にしたい。	20代	女性
家にはパソコンがない為友人の家に通っているが、家から20km以上離れている為に時々にはしか使えない。たまに使うと前に教わったことを忘れてしまう。	40代	男性
情報のオンライン印刷がしづらい。	40代	男性
情報化施策＝パソコン化というなら疑問に感じる。アメリカのハリケーン、カトリーナ上陸時、避難経路をインターネットで広報したそうだが、その手段では情報を得られない人と得られる人の不公平がある。手段の中の一つであるならいいが、それだけではどうか。インターネットに載せただけで仕事をした気になられても困る。福岡の公務員の飲酒ひき逃げ事件の事で前日にメールで飲酒運転しないようにという訓示があったばかりだそうだが、メールというものはどれだけの人に届いているのだろうか。まずは本来の業務の内容熟知と適正な対応を望みたい。(生活保護の担当者の中には不適切な対応が多いと聞く。)それがあっての情報化である。本来の仕事が満足にできていないのに、情報化の仕事をして、仕事をした気になっては本末転倒なのだ。インターネットによる申請届出の手続き、時間がなく役所に行けない時など便利である。お役所対応の窓口の人に会わなくても済む。が、出かけてみると適切なアドバイスがあってよりよい結果が得られた。親切な対応も感じが良かった。とりあえず役所の人に相談してみようというふうに誰もが思う場所になるべきである。	40代	女性
中学生、高校生をもつ母である。インターネット関係は今、とっても必要だと思う。パソコンももちろん必要だが、我家にはない。あえて必要としていない。インターネットから色々な情報を知りあまりよくない道に反れる可能性も大きいと思う。なくてすむならそういう形でしか自分の子供を守れないから。悪い道に進むことはとても簡単なことで、それから立ち直るにはとても時間がかかるし、とても難しいから。今は携帯電話にも本音を言えば迷惑している。家にいる時はメールばかりして勉強もろくにしないし、親子の会話も段々少なくなる。そして、手紙を書いたり文章を書いたりすることも昔からするとずっと減ってきていると思う。自分の子供を守ろうとしてもこんなにいろいろと情報が簡単に手に入る世の中だと今後の子育てはとっても大変だと思う。	40代	女性
パソコン使用によりストレスがたまる。	50代	男性
目が疲れやすい	50代	男性

自由意見	年代	性別
役所はサービス業であると思っている。人と人、顔（目）と顔（目）を接してする仕事だと思っている。インターネット（各ホームページ）等は非常に便利で情報をすぐ手にすることが出来る。しかし、送り手優先であり一方通行の感が強い。一つの媒体であることの認識が必要と思う。しかし、一部我々の考え（情報）を伝えたのでよしとする感もある気がする。社会の流れかもしれないが、問い合わせ等でも詳しいことはインターネットを見て下さればと終わっていることもある。これでは問い合わせの意味もなく何の役にも立たないと思う。情報は生声と手元に残る活字が基本にあると思っている。今、市内を廻るとこんなところにもと思われる所にパンフレット、案内紙を手にする場所があり、嬉しくなる時もある。情報化施策を毎日考え、運営していく事が皆様の仕事でしょうからお任せするが、今机上のパソコンを1ヶ所に集約し始めている上場企業があると聞きく。インターネットの便利性ではなく、不便性を考えて進めていかれる事も一つではないか。	50代	男性
パソコンでも保有してればいろいろ返答できたのかもしれないが、あまりインターネットでの情報は今の現状では必要なかった。雑誌などで充分（新聞など）。あまり便利になりすぎて考えるところがある。	50代	女性
鹿児島市民の一人として、必要な事柄が何らかの手段で知り得るならば、特に人より先に情報が届かなくても良いし、市役所の窓口サービスが気楽にいつでも快く対応していただけるのであれば、機械にわずらわされる事もなくなると生活出来るのかなと思われる。加齢と共にスピード化について行けないと思っている。	50代	女性
情報が氾濫しすぎると、まどわされるのではないかと思う。	50代	女性
分かり易い言葉を使って欲しいと思う。外国語の表示、カタカナ等は覚えられない言葉が多すぎる。	50代	女性
子供と一緒に住んでいないし、インターネットでの情報を聞く事も出来ないし、難しく分らない。	60代	男性
役所に用事のあることなど年に1～2回程度のことで、新しい手続きをする時などインターネット上では理解出来ない。直接足を運んで話を聞かないと納得出来ないのではと思う。	60代	男性
パソコンにしても、67歳の老女には今から覚えたとしても、ストレスが溜まるだけで、下手すると今は色々な詐欺等があり、市の情報化施策を今かすることによって、市も紙、印刷費、郵便代等少なく出来るとは思うが、私はついていけない。これから先、生きたとしても20年弱しか生きないし、その前に「あなた誰・・・」となりそう。	60代	女性
高齢者には分かりにくい。スピードについていけない。	60代	女性
全ての企業がホームページを見ていただきたいと言いが、年をとったものにはパソコンはないし、何の事か分からない。少しの年金（国民）ではパソコンも買えないし生活がやっとである。	60代	女性
例えば、「ブログ」とは「個人発信欄」では何故いけないのか。カタカナが多くて情緒的感性が見られず人間関係が欧米化の多くに似て強食弱肉型となり凶悪犯罪の増加につながる筈。従ってことに若者が米国下名階級並みの知識となりつつある現在、漢字による脳と心情の活性化充実化を測ることが肝要と思われる故、可能な限り漢字	70代	男性

自由意見	年代	性別
を使うべし。漢字を使えない職員は採用するな。情報発信者及び内容の責任者を明記して情報化せよ。		
科学が進歩しすぎて、人間らしさが失われて行く様にある。文化は程々が良いと思う。犯罪者も多くなりつつあると思う。ある程度の労力があって良いと思う。人間の労働力、精神力がつくと思う。人の道、殺人も起きない！！治安が悪い世相である。	70代	女性
私の様な高齢者はパソコン等で情報を得るのは難しい。又、情報が「はんらん」しすぎて困ることが多いように思われる。	70代	女性

【インターネットによる情報発信の充実】

自由意見	年代	性別
今からは、どんどん便利になってインターネットの利用者が増えると思う。色々な手続きがインターネットで出来れば若い人たちの利用が増えると思う。年齢層によっていろんなサービスを分ければより良く利用されると思う。鹿児島市はいろんな講座や市の施設など充実していると思うので、もっと市民にアピールした方がいいと思う。	20代	女性
最近ネットを始めて感じるが、鹿児島は思っていた以上に他県に知られていないのが残念だ。鹿児島と言えば「焼酎」。間違いではないが、そろそろ、それ以外の事も広めていくべきだと思う。私も今から鹿児島の事を書いているHPやブログを探して勉強しようと思っているが、ネット上で上手く鹿児島を表現している人と協力して、まずは鹿児島に住んでいる人に知ってもらいたいと思う。仕事柄10代の子と働く事もあるが、本当に何も知らない。まだ、何をすればいいのかわからないが、自然も多く、食べ物も美味しく、方言もあって、懐かしい場所だと思うので、もっと多くの人に鹿児島を好きになって欲しい。	20代	女性
保育園や学校の情報が詳しく調べられるようにしてほしい。	20代	女性
ホームページを見たが、見やすくなく、古くさい。不必要にサイズ（容量）の大きい写真が貼り付けてあり、読み込みに時間がかかる。現在ホームページ製作をどの様な業者で行っているかわからないが、専門の業者を依頼した方が良くなると思う。	30代	男性
鹿児島市の公営交通機関を利用出来る親しみやすいマップ。産業道路沿いに大型施設がぞくぞく建設されている。与次郎の大型民間施設も建設されている。市民の欲しい情報を気軽に紹介して欲しい。	30代	男性
鹿児島市役所のホームページは、他都市と比べて少し堅いイメージがある。もう少し工夫をされた方が良いのではないか。	30代	男性
保育園についての情報を得たくて、ホームページを見たことがあるが、定員に対する現在の状況（例）定員に対して何%埋まっており、待機児童が〇人くらい等、料金の形態等）や知りたい情報が得られなかった。その日のイベントなど、トピックして目立つように表示すればいいのでは。	30代	男性
観光スポットなど、インターネットで鹿児島市のホームページから検索できると思う。例えば、桜島から地図や行き方（バスの時刻表や料金などを載せる）近いホテルにアクセス出来るようにするなど工夫できたらいいと思う。又、イベントや行事なども、すぐ市のホームページで見られるといいと思う。	30代	女性

自由意見	年代	性別
<p>今、色々な県で税金等を市の職員が燃やしたり使用（個人的に）したりしているという報道があったが、そういうことを隠さず、確実に報道して欲しいと思う。今、仕事をしたくても職場もなく、税金等を収めたくても出来ない期間や支払いが出来ない場合、将来の不安や老後のことを考えると心配である。そういった対応の情報が欲しい。</p>	30代	女性
<p>仕事の関係で、窓口での手続き方法など事前に確認するために利用しているが、せっかく作っていただいているにもかかわらず、他のサービスについてはあまり見たことがない。便利な世の中であるが、必要な情報や（急ぎの時）細かい情報を知りたい時はホームページではなくて電話をしている。ホームページのサイトにどれだけの情報を載せるか…というのは選択、製作される方々にとっては難しい問題だと思う。県外や海外の方はこのホームページが鹿児島市を一番よく知る事の出来る情報源だと思う。どこのホームページからも得られない鹿児島市の素晴らしい情報をう〜んと提供して下さい。楽しみにしている。個人的には、市営バスの時刻表はほぼ毎日利用している。友人にも教えたらとても喜んでいた。もう一つは、国際交流のホームページはよく拝見している。日本人に限らず世界中の人々に鹿児島のことを大好きになってもらえて〇〇人△△人…などという人の線をこえて本当の意味での国際都市、国際交流の出来る街になっていく事を願う。ホームページも外国語版での情報もたっぷりです。よろしくお願いします。</p>	30代	女性
<p>子育て中、外出がなかなか出来ない分インターネットをよく利用している。先日、保育園、幼稚園の情報を得たいと思って検索したが、認可外保育園の情報が平成17年のデータしかなかった。子育てに関する情報手続きがインターネットでできるととても助かる。保健所の情報ももっとインターネットで得られるようになってほしい。育児教室の申し込み等もネットで出来ると利用しやすい。交通局のホームページはとても利用しやすく便利だと思う。</p>	30代	女性
<p>子供がいる為、公共施設などより多く取り扱ってほしい。イベント情報など少なすぎる。ホームページなどでも、少ないのが不安。より多くの情報など福岡などみたいに取り扱って欲しい。</p>	40代	男性
<p>今回初めて、ホームページを拝見させて頂いた。豊富な情報に感動した。これから市のホームページを活用していきたいと思う。いいホームページ作成をありがとう。これからも続けていろいろな情報をよろしくお願いします。</p>	40代	女性
<p>市HPについて、数回ホームページにアクセスしたことがある。市民サービスのためのホームページにしては情報が少なく、それぞれが独立している感じを受けた。また、内容によっては古い情報が更新されずそのままの部分があった。（その後調査がなかったかもしれませんが、統計関係のものである。）でも、県のホームページと比較すると市のホームページの方がまだ充実している。これからも利用しやすい情報化政策をお願いします。</p>	40代	女性
<p>インターネット等の情報化の推進により、情報伝達や行政手続きは飛躍的に便利が高まっている。しかし、それと同時にセキュリティ問題も大きくなっている。従ってセキュリティ対策には万全の対策を施していただく事をお願いする。また、情報の正確性を保つための情報管理が一層重要となる。鹿児島市のホームページの中で、観光ガイドのページの中の温泉天国には入浴料が330円（9/6現在）となっていた。</p>	50代	男性

自由意見	年代	性別
このような情報の訂正を含めた管理の徹底が課題であると思う。		
会社のパソコンで企業情報の他、色んな情報を検索等で探しているが、他県は情報が入りやすいが、鹿児島は遅れていると思う。こういった情報があったら市民が喜びを感じるのかなか、便利だなとか、ホームページ上でも掲載していれば鹿児島の経済の発展、商工業のネットワーク等益々元気のある街づくりが出来ると思う。	50代	男性
区画整理に伴う「市が販売する不動産」の電子上の情報提供の充実。区画整理事業実施状況の提供とその後の検証状況の提供。病院の特徴等情報。市全体にわたる道路整備状況の提供。経済的発展を目指した市の取り組みの将来計画の情報。吉野地区を情報ネットワーク特区に指定し、将来30万都市となるような計画をお願いしたい。	50代	男性
鹿児島は歴史的にも価値のある財産（有形・無形）をたくさん持っている地域だと思う。県と市、タイアップしてもっと観光PRし、まだ日の目を見ない歴史的価値のある個所をもっと掘り起こしPRして欲しい。すばらしい鹿児島に万歳。	50代	女性
ホームページが見やすくなった。合併による情報格差（基盤整備）を無くするよう努力してもらいたい（予算配分の検討）。市議会の速報をホームページに載せてもらいたい。（遅くとも翌日には…本当は新聞より早く。）	60代	男性
最近、企業の形態が多岐に分化している。インターネットで鹿児島（県や市）を開いても申請や周辺の資料がない場合が多く、他の都府県のものを利用していることが多い。さらなる充実を望む。	60代	男性
市の施設の場所の略図が示してあればと思う。	60代	女性

【セキュリティ対策の充実】

自由意見	年代	性別
情報化を行っていくにあたり、個人情報保護をしっかりと行ってほしい。	20代	女性
インターネットによる人権侵害（盗撮、中傷等）に対する罰則の強化をお願いする。	30代	男性
個人情報の保護には特に力を入れて欲しい。	30代	男性
個人情報を大切に扱ってほしい。	30代	女性
情報化が進めば進むほど、良い面と悪い面が出てきそう。安全に市民サービスの向上がなされなければなあと思う。大変でしょうが頑張ってください。プライバシーは必ず守っていただきたい。	30代	女性
IT推進はこれからの分野で特に重要な事柄のひとつだと思う。市民のためのIT推進であることを切に願っている。しかし、最近のニュースで報じられているようにサイバー犯罪が後を絶たないのも事実。私は職場以外でのインターネットは利用していない。利便性は大変有難いと思うが、情報の流失やそれに伴う他人への第三者被害を考えるとまだ踏み込めない。だから、市政が安心してIT化のモデルを示していただければと期待している。	40代	男性
インターネットなどの情報化が進むことは、これからの社会で重要だと思う。しかし、その取り扱い方には十分なプライバシー保護などが必要だと思う。そして、情報化が進む中にもやはり人と人のふれあい、温かみのある社会であってほしいと願う。	40代	男性
情報化が進むのは良いことだと思う。しかし、セキュリティや個人情報の保護に配慮	40代	男性

自由意見	年代	性別
し今回のような意見・要望等を汲み取って進めてもらいたい。		
今は特にないが、個人情報の漏洩防止には充分すぎる程留意して欲しい。	50代	男性
市の情報化施策は、今後も進めて欲しい。同時にパソコン等を利用した犯罪防止、プライバシーの侵害、子供への有言なものへの対策を全体的に（国、行政、業界）進めて欲しい。	60代	男性
市民個人情報を漏えいすることがないようにお願いしたい。費用対効果、情報化に伴い市職員の数も相応に減らすべきものと思う。	60代	男性
市民全員が参加出来るシステムを考慮してほしい。ウィルス、情報保護には最大限の配慮をしてほしい。face to faceを基本に考えてほしい。青少年が戸外でより多く生活（行動）出来るようにしてほしい。豊かな自然を忘れないでほしい。	60代	男性
個人情報は守っていただきたい。そのうちにインターネットまでは出来なくてもパソコン購入を希望している。	60代	女性

【情報通信技術を活用した市民サービスの充実】

自由意見	年代	性別
住民票などがネットで取得出来ると、とても助かる。	20代	女性
色々な申請等（住民票の取得やパスポート他）がネットでできたらいいなあと思う。国際的なイベント情報+知識人と知り合えるような交流の場があれば。最近、外国人がせっかく増えているのだから、もっと色々な事を知りたい。まあ、問題も沢山あるだろうが。	20代	女性
時間外・土日の対応をやってくれるところが少ない。仕事の関係上、平日では処理できない時が多い。よって、インターネットを活用して処理してくれると有難いと思う。	30代	男性
キュートピアネットでスポーツ施設の抽選申し込みを利用しているが、グループ代表として複数人数のIDで申し込みする場合いちいちトップページから入り直さなければならず不便である。	30代	女性
医療と交通との密着など生活していく上で実際に役立つシステムがあれば良いのではないか。お年寄りならば、指一本で（ボタンを押すだけで）医療機関につながったり、タクシーが呼べたり。子供ならば、夜間あいている病院に指一本でボタンを押すだけでつながる。生きていくうえで必要とされるものがあると良いのではないか。鹿児島発展の為頑張っていたきたい。	30代	女性
妊娠中及び育児中の（子供が小さい）場合移動図書館があればとても有難い。希望者を募り巡回する形で利用したい。交通手段が限られている高齢者も一緒に利用出来るのではと思う。情報機器（パソコン等）を1ヶ月単位でも図書と同様に貸借することが出来れば年齢を問わずに鹿児島の情報に触れる事が出来る上、様々な意見交換がまだまだ増えるのではと思う。生涯学習にもつながると思う。	30代	女性
市全地域へのブロードバンド完全普及で使える・使えない（個人の能力）は別として、市に対して行う全ての届出や出庁業務を自宅のパソコンから行えるようにしてほしい。窓口の完全撤去とは言わないまでも、すべての作業が自宅で出来るようにすることで、支所の駐車場の確保や混雑解消、待ち時間無し、出庁に関しての時間の都合（曜	40代	男性

自由意見	年代	性別
日や開庁時間に合わせる必要なく)を気にせず年中24時間届出や必要書類を自宅で完了、受け取れる体制を確立させてほしいし、その為に税金を使って欲しい。		
分かりやすく、楽しくて、誰でも利用しやすい環境作りに努めてください。図書館とある本検索のパソコンみたいに利用しやすいパソコンが路上に、公衆電話みたいになればすごく良いと思う。ちなみにホームページが市民便利帳みたいに検索できたら便利だと思う。また、小学生向けのページもあれば子供達も利用するのではないか。今後の情報化施策に期待している。がんばっていただきたい。	40代	男性
鹿児島市の情報化を通して鹿児島市が活性化する事を期待している。	40代	女性
全ての手続きは市役所に出向かなくても自宅のパソコンで可能となってほしい。	60代	男性
電話番号帳と同様なアドレス帳があったら利用できるのではなかろうか？	70代	男性

【コスト問題】

自由意見	年代	性別
メールマガジンの発行に、ポイント制を導入すべきである。また、情報化政策が単に情報の発信になっては使える人にしか興味が持てない。やはり、ポイント制のように安全上の対策が出来ていることを前提に経済的観点からの優遇を行うべきである。例えば、アンケートを取り込みポイントの量によって公共費の割引(ごくわずかでも良い)を行う。情報化政策が単に発信に終わるのではなく政策として行う以上、効率化を同時に行い不要な人件費を削減することによりくみ出される経費を市民に還元し、そして市民から実用性を持つものとならなければならない。そうすることで、市民の中に政策が組み込まれ双方にとって利益を生まなければ情報化する意味がない。単に情報の発信政策としての導入ならば、税金の無駄である。以上、情報化政策は市民にとって有益なものとなりうる情報発信の形つまりは経済性を導入しなければ意義のあるものとなり得ないと考える。それによって、今まで以上に県の政策に関心を持つはずである。	20代	男性
費用対効果が重要だと思う。特に実際利用者の見込めないシステムに巨費を投じるのは無駄だと思う。システムに巨費を投じるよりも、市営プールの一般開放時間や予約状況を逐一更新するなど細やかな情報発信に努めてほしい。	20代	男性
必要とされるものだけでいい。他県のマネはしなくてもいい。情報処理が好きな人を担当にしてあげて。もしくは、県の人ができるのではなく、そういうのが得意な業者に委託した方が良い。いやいや職員が担当しても金の無駄。	20代	男性
住民票コードの利用を一度も行ったことはないが、市としての効果はあったのか!?例えばコストが50%ダウンしたとか。又、住民票コードの情報はホームページに記載されているのか。	50代	男性
私自身、職場でコンピュータ漬けの毎日だが、市が情報化施策を強力に推進する事には賛成しない。と言うより、反対だ。全国でもIT化が(県民一般)低い方だと思うが、低い、~というアイデアに満ちた施策を考えるべき。まして、予算を大幅に増やす事には反対。利便性は今位で調度良い。鹿児島は老人が多く、職員はIT云々より汗を流して足を使う事を考えるべき。これから、IT化でやる部分、やれる部分	60代	男性

自由意見	年代	性別
は多くなっていくが、市・県がやるのは自分たちが楽になれるという発想になりがち。ある事をIT化するのに許認可は第三者の監査機関を設けるべきくらい、と思う。まして、このアンケートの統計結果で大半が望んでいる等の結論はもっての外である。高い費用を費やすとき、自分の金を払うのだったらどうだろうと考えていただきたい。		
情報化は時代の進展につれ、日本国中、或いは世界とのネットワーク化が進むものと考えられている。従って情報化施策の必要性はあると考えられる。しかし乍ら機械の進歩につれ、担当者の人員増、機器の買い替え等、今後莫大な出費がかさむと思う。費用対効果を考える時如何なものかと思う。民間の場合情報機器等を入れたらそれに見合う人員削減が迫られるが、行政の場合逆に専門の担当者を配置するなどして人員は増えていく傾向にある。市民の立場からすれば益々効率が悪くなるのであって、過度の情報化には賛成できない。	70代	男性
次の世代を担う子供たちが増えなければ、どんな施策も意味を成さないと思う。	30代	男性

【その他】

自由意見	年代	性別
今回初めて市のホームページを見たが、かなり充実していると思った。施設利用の申し込みや、サンエールの図書検索が出来るのは便利だと思った。自治体のHPを見るのは、主に旅行先での情報を得るための観光課HPくらいで、自分の住んでいる所のHPをあえて見ようという気はしない。鹿児島市は広報誌が充実しており、それでほぼ満足しているので、HPでの情報伝達は受け取る側が能動的にならなければいけないが、広報誌はポストに入っていれば何となく読み、関心のない記事でも斜め読みで気に止まる。広報誌の電子化などされないようお願いしたい。	30代	女性
情報化を進めるのはよいが、進める事による市民への負担がない様をお願いする。	40代	男性
水道料金の引き下げ、災害時の交通や生活の身の回りの情報発信のためのアクセス（電話等）回線の明確化をPR。	50代	男性
情報化という言葉に、既存の新聞・テレビ・固定電話等の活用が脱落しておりむなし。今まで、業者まかせでおしきせの情報を垂れ流ししていたのでは。市の職員に地域担当者を任命するなど、細やかな施策の徹底、地域の管理内容ある施策を実施しないと「生きた情報」にならない。形式的な情報化は業者を喜ばせるだけで、いざという時「生命の救助」とか大事な場面で全く要をなさない。機材を要するメディアは時間や空間やプライバシーの単なる浪費だけと考える。	60代	男性
携帯電話も使ったことがないので、パソコン、インターネット、ブロードバンドサービス、何もついていけない。田舎ものにこんな返答は送らないでほしい。意味が分からない。	60代	女性
市民のひろば等を通して情報が分かり本当に助かっている。日常安心して生活出来る事に又感謝している。	60代	女性
回覧板やテレビ等で充分。新聞もある。	70代	女性
高齢のため、機械に弱いので知人・友人との話の話題は病院・病気・治療と健康の話	70代	女性

自由意見	年代	性別
<p>題になる。平和で楽しい老後を迎えることが出来ればと願っている。そのために、テレビ・ラジオ・新聞・市の広報誌（市民のひろば）を見たり、聞いたりが私の情報源。市民のひろばは楽しみにしている。今のところこんな毎日。まあまあ、満足している。</p>		